

2014 年秋季年会

年会プログラム

於 山形大学

2014 年 9 月 11 日 (木) ~ 9 月 13 日 (土)

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 2014 年秋季年会プログラム

期 日 2014年9月11日(木)～9月13日(土)

場 所 山形大学(山形県山形市)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2014年9月10日(水)～9月13日(土)>

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
9月11日 (木)	A	受付		T. 銀河団	昼休み	ポスター		T. 銀河団	天文教育 フォーラム (D会場)		理事会	
	B			V2. 地上観				V2. 地上観				
	C			Y. 教育・他				M. 太陽				
	D			C. 星間水素				C. 星間水素				
	E			J2. 高密度星				J2./J1. 高密度星				
	F			P2. 星・惑星				P2. 星・惑星				
	G			N. 恒星				N. 恒星				
	H			R. 銀河				R. 銀河				
	I			Q. 星間現象				Q. 星間現象				
	J			L. 太陽系/W2. 飛翔観				W2./W1. 飛翔観				
9月12日 (金)	A	受付	X. 銀河形成	昼休み (代議員総会)	ポスター		X. 銀河形成	会員 全体集会 (D会場)		懇親会		
	B		V2. 地上観				V1. 地上観					
	C		M. 太陽				M. 太陽					
	D		B. 大学間連携				B. 大学間連携					
	E		J1. 高密度星				J1. 高密度星					
	F		P2. 星・惑星				U. 宇宙論					
	G		P1. 星・惑星				P1. 星・惑星					
	H		R. 銀河				S. 銀河核					
	I		Q. 星間現象				Q. 星間現象					
	J		W1. 飛翔観				W1. 飛翔観					
9月13日 (土)	A	受付	X. 銀河形成	昼休み	ポスター		X. 銀河形成					
	B		V1. 地上観				V1. 地上観					
	C		A. Solar-C				A. Solar-C					
	D		B. 大学間連携									
	E		J1. 高密度星				J1. 高密度星					
	F		U. 宇宙論									
	G		P1. 星・惑星				P1. 星・惑星					
	H		S. 銀河核				S. 銀河核					
	I		K. 超新星爆発									
	J		W1. 飛翔観									
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

A会場：基盤教育2号館1F(211)

B会場：基盤教育2号館1F(212)

C会場：基盤教育2号館1F(213)

D会場：基盤教育2号館2F(221)

E会場：基盤教育2号館2F(222)

F会場：基盤教育1号館1F(111)

G会場：基盤教育1号館1F(112)

H会場：基盤教育1号館2F(121)

I会場：基盤教育1号館2F(122)

J会場：基盤教育1号館3F(131)

受 付：基盤教育2号館1Fロビー

ポスター会場：第一体育館

展示コーナー：第一体育館

会 議 室：基盤教育1号館2F(124)

懇 親 会：ホテルキャッスル

◎講演数

講演数：合計 709

(口頭講演 (a)：473、ポスター講演 (b)：192、ポスター講演 (c)：44)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (基盤教育 2 号館 1F ロビー)

○参加登録受付時間：9 月 11 日 10：00～16：00

9 月 12 日 09：00～16：00

9 月 13 日 09：00～13：00

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 10 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、9 月 11 日の 10：00 から 9 月 13 日の 13：30 までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。

ポスターサイズは縦 180 cm×横 90 cm です。

3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前に PC の接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中に PC を接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
9月11日	17:00～19:00	D会場	天文教育フォーラム
9月12日	16:00～17:00	D会場	会員全体集会
	18:00～	ホテルキャッスル	懇親会
9月14日	13:00～16:30	山形テルサ 3F アプローズ	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
9月11日	13:00～14:00	C会場	太陽研究者連絡会・運営委員会	D
	19:15～20:15	会議室	理事会	D
9月12日	11:30～12:30	B会場	代議員総会	D
	11:30～12:30	C会場	宇宙電波懇談会会合	C
	11:30～12:30	F会場	高エネルギー宇宙物理連絡会報告会	B
	11:30～12:30	G会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	11:30～12:30	J会場	女性天文研究者の会	A
9月13日	11:30～12:30	B会場	日本 SKA コンソーシアム会合	B
	11:30～12:30	C会場	太陽研究者連絡会・報告会	C
	11:30～12:30	G会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	11:30～12:30	H会場	光学赤外線天文連絡会総会	C

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎天文教育フォーラム

主催：日本天文学会 共催：天文教育普及研究会
後援：日本学術会議物理学委員会 IAU 分科会

テーマ：「これからの学校教育における天文学」

日時：2014年9月11日 17:00～19:00

場所：D会場

概要：現在は大学を含めた学校教育において、どのような内容をどのように指導していくか、教育の質が広く問われています。初等教育、中等教育では、2008年に学習指導要領が改訂され、小学校では2011年度から、中学校では2012年度から新指導要領が全面実施、また高等学校では2013年度から年次進行で実施されたばかりですが、文部科学省は2016年度に学習指導要領を全面改定する方針を固め、本年秋から始動する予定です。

一方、日本学術会議では、大学教育の質保証への指針をそれぞれの学問分野で集約するよう求めており、いくつかの分野ではすでに提言がまとめられています。物理学や天文学分野では、本年度いっぱいをめどに、提言をまとめ上げていくことが期待されています。

そこで、今回は大学教育と次期指導要領に焦点を当て、研究者、教育者それぞれの立場から話題を提供していただき、大学教育の質、学習指導要領に求める事項やスタンスについて、情報を共有し交換することを目的とします。

プログラム：＜話題提供（約80分）＞

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 学校教育における天文学 | 岡村定矩（法政大学） |
| 2. 天文分野における大学教育の質保証 | 山岡 均（九州大学） |
| 3. 中等教育の立場から学習指導要領を考える（仮） | 鈴木文二（春日部女子高校） |
| 4. 日本学術会議高校理科教育検討小委員会からの報告 | 須藤 靖（東京大学） |
- ＜参加者を交えた議論（約40分）＞

実行委員：山岡 均（九州大学）、大山真満（滋賀大学）、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）、石井貴子（京都大学）、高梨直紘（東京大学）、柴田晋平（山形大学）

◎ALMA 展示ブース：ALMA データ公開システム

日時：天文学会期間内

場所：第一体育館

概要：世界最大の電波望遠鏡 ALMA が産み出すデータは、観測提案者がデータを取得してから一年後には、誰もが利用できる公開データとして配信されている。データの配信は ALMA 地域センターにより運営されている Science Portal より行われている他、Japanese Virtual Observaotry (JVO) Portal からも行われている。

ALMA のデータは観測方法によっては一つの観測天体に対し数 TB にも達することが想定され、全データをインターネット経由でダウンロードすることは非常に困難である。JVO Portal はこうした巨大なデータのうち、利用者が必要な部分データのみを、場合によっては波長・空間分解能を落としてダウンロードする機能を有し、ALMA によって得られた多数の公開アーカイブデータを利用しやすい形で配信している。

この目的のため、ALMA WebQL といったウェブブラウザ上でデータを可視化し必要なデータ領域や分解能を指定できる Web アプリケーションや、データをダウンロード後に詳細に ALMA の四次元データキューブを可視化するアプリケーション Vissage の開発を行った。

本展示では、多くの方々に本システムの存在を知って頂き、ALMA のアーカイブデータを今後の天文学研究に活用して頂くことを目的として、その利用方法などの紹介を行う。

世話人：白崎裕治（国立天文台）yuji.shirasaki@nao.ac.jp

川崎 渉（国立天文台）wataru.kawasaki@nao.ac.jp

川口俊宏（国立天文台）ts.kawaguti@nao.ac.jp

◎日本天文学会公開講演会

テ ー マ：天文日和「今日の午後、宇宙散歩は、なんとっす」

日 時：2014年9月14日（日）13:00-16:30（開場 12:30）

場 所：山形テルサ（JR山形駅西口）3F アプローチ 山形県山形市双葉町1丁目2-3

対 象：どなたでも参加できます。途中入退場可能です。

概 要：山形は宇宙に一番近い場所かも知れません。市民の宇宙への関心が非常に高いからです。超新星の発見の名人、板垣公一さんをはじめ、アマチュアの観測家も多く、宇宙大好きな市民NPOによる活動や「やまがた天文台」もあります。大学では宇宙物理学の理論や実験が行われています。

このたび、日本天文学会秋期年会が山形大学で開催されることとなり、あわせて公開講演会を開催し、この機会に、宇宙の不思議と天文学の進歩を感じて頂ければと思います。

だれもが楽しめる以下のような講演です。

内 容：講演1：「たのしく星探しやってます！～超新星ハンターのひとりごとより～」

講 師：板垣公一（山形市在住アマチュア天文家）

2001年以来、毎年複数の超新星を発見し続けている板垣公一さんが、実際の観測の様子、努力のポイントなどを楽しく語る。

講演2：「1000年の時空を駆けた超新星の話」

講 師：小山勝二（京都大学名誉教授）

千年前、安倍晴明とその子孫が超新星爆発を観測した。その結果を、藤原定家が「明月記」に残した。その痕跡、超新星残骸は最新鋭の観測機器で観測された。ここでは千年前の超新星爆発とその残骸を観測した最新の天文学の話題を取り上げて、1000年の時空をかける壮大な旅に御案内する。

講演3：「宇宙138億年の進化」

講 師：吉田直紀氏（東京大学・教授）

最新の宇宙観測とコンピューターシミュレーションによる結果を交え、ダークマターやダークエネルギー、宇宙暗黒の時代など、宇宙進化の歴史を分かりやすく解説します。

司 会：山岡 均（九州大学）

申 込：事前の参加申込は不要。参加費無料です。ただし、定員400名を超える場合には、入場制限をお願いする場面もあります。

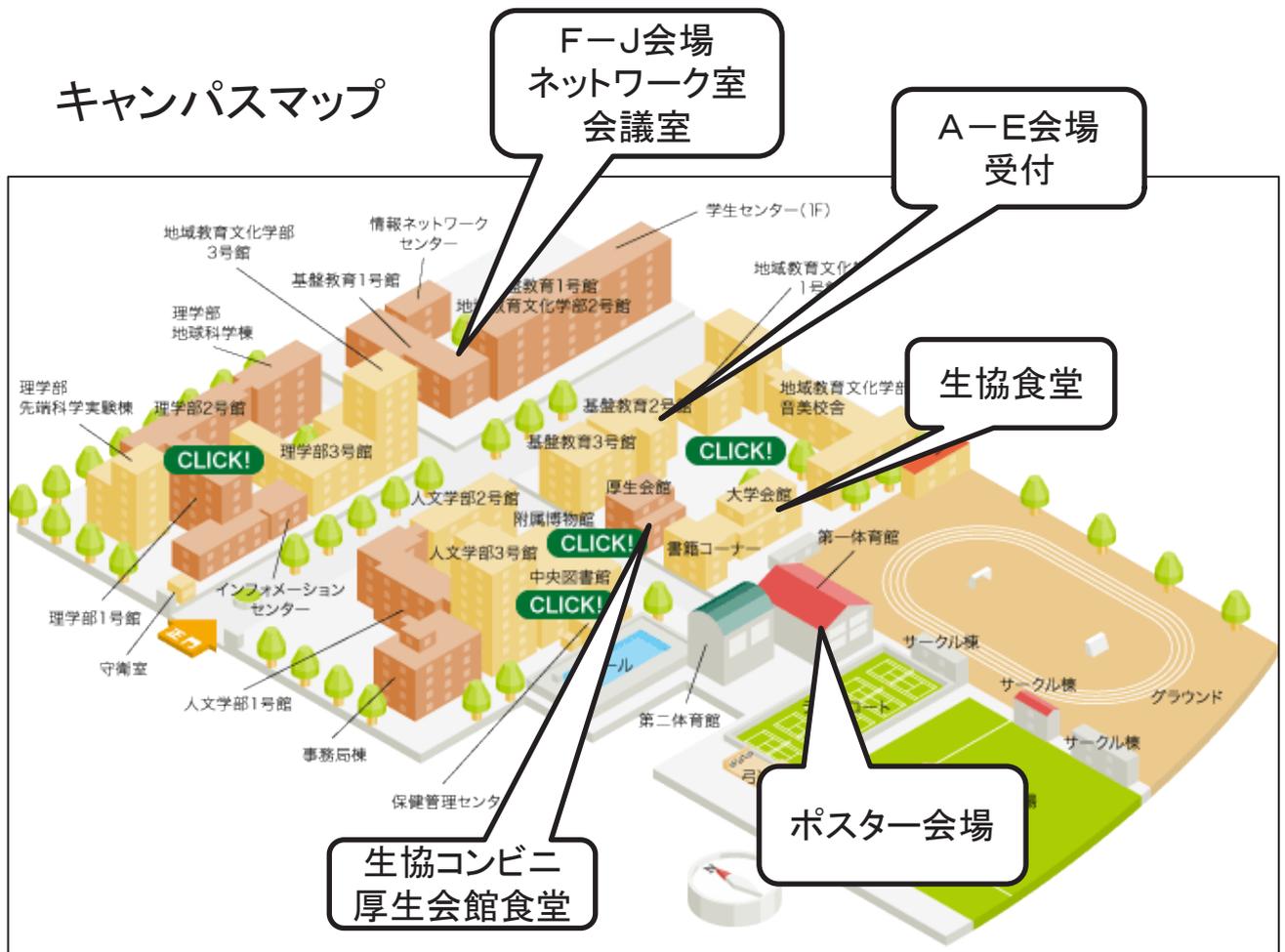
秋季年会会場 山形大学小白川キャンパスのご案内



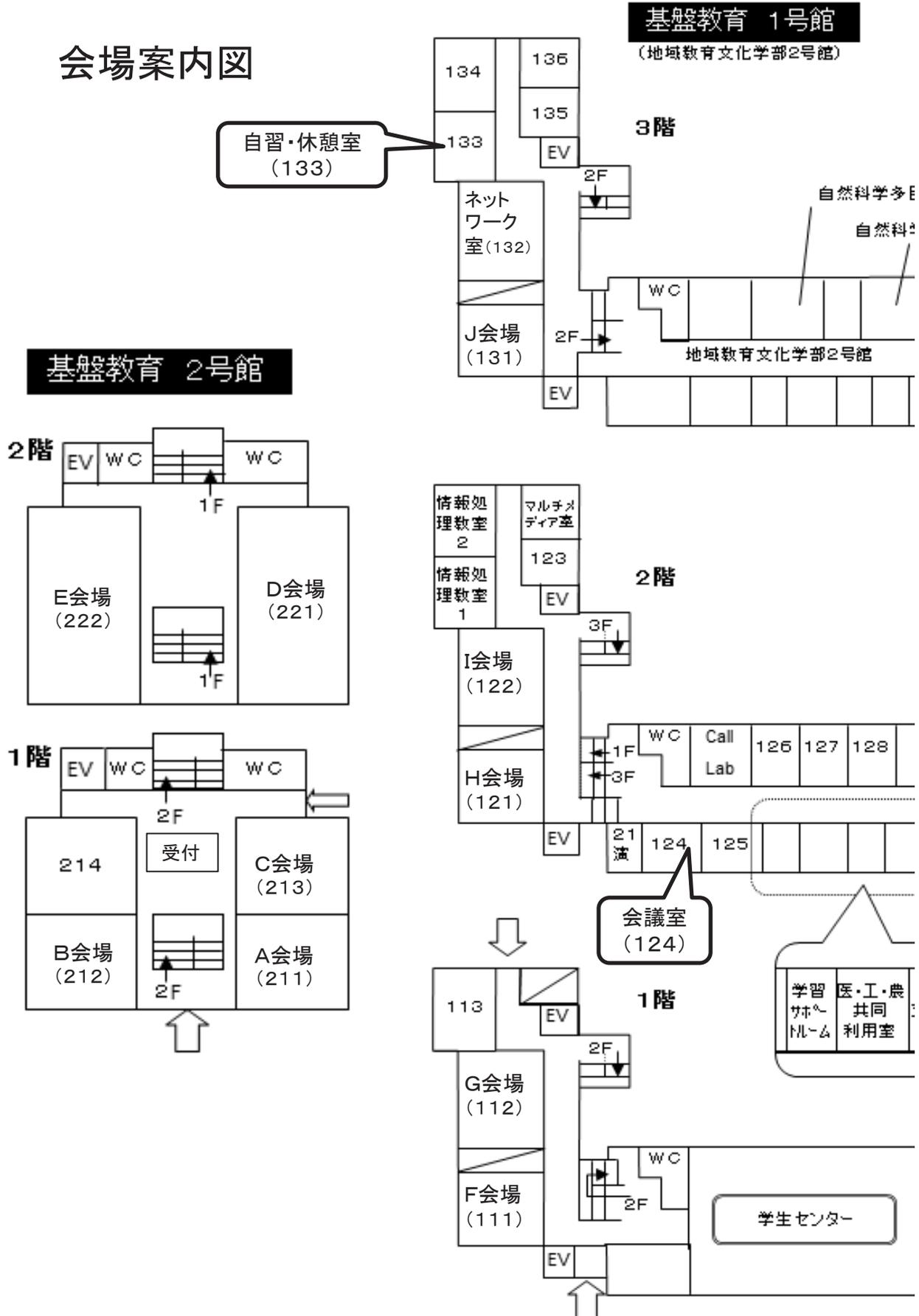
JR山形駅から東方へ約2kmに位置します。
バスについては詳しくは山交バスのホームページ
をご覧ください(<http://www.yamakobus.co.jp/>)。

- JR山形駅から
 - 徒歩約25分
 - 山形駅から「山形県庁」行きバスで「南高前山大入口」下車(約7分)、徒歩7分
 - タクシーで約千円
- 山形空港から
 - 山形市内行きバスに乘車(約35分)で「JR山形駅東口」バス停に
- 仙台から
 - 高速バスに乘車(約60分)「南高前山大入口」下車、徒歩7分

キャンパスマップ



会場案内図



口頭セッション 9月11日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【銀河団】	【地上観】	【教育・他】	【星間水素】	【高密度星】	【星・惑星】	【恒星】	【銀河】	【星間現象】	【太陽系】/ 【飛翔観】
11:00	T01a	V201a	Y01a	C01r) C06r	J201a	P201a	N01a	R01a	Q01a	L01a
11:12	T02a	V202b V205b V206b	Y02a		J202a	P202a	N02a	R02a	Q02a	L02a
11:24	T03a	V207a	Y03b Y04b Y05b		J203a	P203a	N03a	R03a	Q03a	L03a
11:36	T04a	V208a	Y06a		J204a	P204a	N04a	R04a	Q04a	L04a
11:48	T05a	V209a	Y07b Y09b Y10b		J205a	P205a	N05a	R05a	Q05a	L05a
12:00	T06a	V210a	Y11a		J206a	P206a	N06a	R06a	Q06a	L06b W201b W202b
12:12	T07a	V211a	Y12b Y13b Y14b		J207a	P207a	N07a	R07b R09b R10b	Q07a	W203a
12:24	T08a	V212a	Y15b		J208a	P208a	N08b N09b N10b	R11a	Q08a	W204a
12:36	T09a	V213a	-		J209a	P209b P210b P211b	N11a	R12a	Q09a	W205a
12:48	T10b T11b T12b	V214b	-		J210a	P212b P213b P214b	N12a	R13a	Q10a	W206a
13:00	-	-	-	-	-	-	N13a	R14a	Q11b Q12b	-
13:12	-	-	-	-	-	-	-	R15b R16b	-	-
13:00	昼休み									
14:00	ポスター									
開始時刻	【銀河団】	【地上観】	【太陽】	【星間水素】	【高密度星】	【星・惑星】	【恒星】	【銀河】	【星間現象】	【飛翔観】
15:00	T13a	V215a	M01a	C07a) C16b	J211a	P215a	N16a	R17a	Q13a	W207b W208b W209b
15:12	T14a	V216a	M02a		J212a	P216a	N17a	R18a	Q14a	W210a
15:24	T15a	V217a	M03a		J213a	P217a	N18a	R19a	Q15a	W211a
15:36	T16a	V218a	M04a		J214a	P218a	N19a	R20a	Q16a	W212b W213b W214b
15:48	T17a	V219a	M05a		J215a	P219a	N20a	R21a	Q17a	W217a
16:00	T18a	V220b V221b V222b	M06a		J216a	P220a	N21a	R22a	Q18a	W218a
16:12	-	V223a	M07a		J217b J218b J220b	P221a	N22a	R23a	Q19a	W219a
16:24	-	V224a	M08a		J101a	P222a	N23a	R24a	Q20a	W220b W222b
16:36	-	V225a	M09b M10b M11b		J102b J103b J104b	P223b P224b P225b	N24a	R25b R27b R28b	Q21a	W101b W102b W103b
16:48	-	V226b V227b V228b	M12b M13b M14b		J105b J106b J107b	P226b	N25b	R29b R30b R31b	Q22a	W104b W105b W106b
17:00	天文教育フォーラム (D会場)									

口頭セッション 9月12日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【銀河形成】	【地上観】	【太陽】	【大学間連携】	【高密度星】	【星・惑星】	【星・惑星】	【銀河】	【星間現象】	【飛翔観】
09:30	X01a	V229a	M15a	B01r) B14b	J111a	P227a	P101a	R32a	Q23a	W107a
09:42	X02a	V230a	M17a		J112a	P228a	P102a	R33a	Q24a	W108a
09:54	X03a	V232a	M18a		J113a	P229a	P103a	R34a	Q25a	W109a
10:06	X04a	V233a	M19a		J114a	P230a	P104a	R35a	Q26a	W110a
10:18	X05b X06b	V234a	M21a		J115a	P231a	P105a	R36a	Q27a	W111b W112b W113b
10:30	X07a	V235b V236b V237b	M22a		J116a	P232a	P106a	R37a	Q28a	W114b W115b W116b
10:42	X08a	V238a	M23a		J117a	P233a	P107a	R38a	Q29a	W117a
10:54	X09a	V240a	M25a		J118a	P234a	P108b P109b P110b	R39a	Q30a	W118a
11:06	X10a	V241b V242b	M26b M27b M28b		J119a	P235a	P111b P112b P113b	R40a	Q31a	W119b W120b W121b
11:18	X11a	-	M29b		J120b J121b J122b	-	-	R41a	Q32b Q33b Q34b	W122b W123b
11:30	昼休み (代議員総会)									
12:30	ポスター									
開始時刻	【銀河形成】	【地上観】	【太陽】	【大学間連携】	【高密度星】	【宇宙論】	【星・惑星】	【銀河核】	【星間現象】	【飛翔観】
13:30	X13a	V101a	M30a	B16b) B29b	J123a	U01a	P115a	S01a	Q35a	W125a
13:42	X14a	V102a	M31a		J124a	U02a	P116a	S02a	Q36a	W126a
13:54	X15b X16b X17b	V103a	M32a		J125a	U03a	P117a	S03a	Q37a	W127a
14:06	X18b X19b X20b	V104b V105b V106b	M33a		J126a	U04a	P118a	S04a	Q38a	W128a
14:18	X21a	V107a	M34a		J127a	U05a	P119a	S05a	Q39a	W129a
14:30	X22a	V108b V109b V110b	M35a		J128a	U06a	P120a	S06a	Q40a	W130a
14:42	X23a	V111b V112b V113b	M36a		J129a	U07a	P121b P122b P123b	S07b S08b S09b	Q41a	W131a
14:54	X24a	V114b V115b V116b	-		J130a	U08a	P124b P125b P126b	S11b S12b S13b	Q42a	W132a
15:06	X25a	V118b V119b V120b	-		J131a	U09a	P127b P128b P129b	S14b S15b S16b	Q43a	W133a
15:18	X26a	V121b V122b V123b	-		J132a	U10b U11b	P130b P131b P132b	S17b S18b S19b	Q44b Q45b Q46b	W134a
15:30	-	-	-	-	-	-	-	Q47b Q48b	-	
16:00	会員全体集会 (D会場)									
18:00	懇親会 (ホテルキャッスル)									

口頭セッション 9月13日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場		
開始時刻	【銀河形成】	【地上観】	【Solar-C】	【大学間連携】	【高密度星】	【宇宙論】	【星・惑星】	【銀河核】	【超新星爆発】	【飛翔観】		
09:30	X27a	V124a	A01a ∩ A10a	B31a ∩ B46a	J133a	U13a	P133a	S20a	K01a	W135a		
09:42	X28a	V125a			J134a	U14a	P134a	S21a	K02a	W136a		
09:54	X29a	V126a			J135a	U15a	P135a	S22a	K04a	W137a		
10:06	X30a	V127a			J136a	U16a	P136a	S23a	K05a	W138a		
10:18	X31a	V128a			J137a	U17a	P137a	S24a	K06a	W139a		
10:30	X32a	V129a			J138a	U18a	P138a	S25a	K07a	W140a		
10:42	X33a	V130a			J139a	U19a	P139a	S26a	K08a	W141a		
10:54	X34a	V131a			J140a	U20a	P140a	S27a	K09a	W142a		
11:06	X35a	V132a			J141a	U21a	-	S28a	K10a	W143a		
11:18	X36a	V133a			J142a	U22a	-	-	K11a	W144a		
11:30	-	-			-	-	-	U23a	-	-	K12a	-
11:42	-	-			-	-	-	U24a	-	-	K13a	-
11:54	-	-	-	-	-	U25a	-	-	-	-		
11:30	昼休み											
12:30	ポスター											
開始時刻	【銀河形成】	【地上観】	【Solar-C】		【高密度星】		【星・惑星】	【銀河核】				
13:30	X37a	V134a	A11r ∩ A19a		J143a		P141a	S29a				
13:42	X38a	V135a		J144a		P142a	S30a					
13:54	X39a	V136a		J145a		P143a	S31a					
14:06	X40a	V137a		J146a		P144a	S32a					
14:18	X41a	V138a		J147a		P145a	S33a					
14:30	X42a	V139a		J148a		P146a	S34a					
14:42	X43a	V140a		J149a		P147a	S35a					
14:54	X44a	V141a		J150a		P148a	S36a					
15:06	-	-		J151a		P149a	S37a					
15:18	-	-		J152a		P150a	-					
15:30	-	-		-		-	P151a	-				

ポスターセッション 9月11日(木) ~ 9月13日(土)

ポスター会場					
【A. Solar-C】(3)					【N. 恒星】(6)
A20c	A21c	A22c			N08b N09b N10b N14c N15c
					N25b
【B. 大学間連携】(23)					【P1. 星・惑星】(19)
B09b	B10b	B11b	B12b	B13b	P108b P109b P110b P111b P112b
B14b	B15c	B16b	B17b	B18b	P113b P114c P121b P122b P123b
B19b	B27b	B28b	B29b	B30c	P124b P125b P126b P127b P128b
B34b	B35b	B36b	B37b	B38b	P129b P130b P131b P132b
B39c	B40c	B41c			
【C. 星間水素】(3)					【P2. 星・惑星】(10)
C14b	C15b	C16b			P209b P210b P211b P212b P213b
					P214b P223b P224b P225b P226b
【J1. 高密度星】(12)					【Q. 星間現象】(11)
J102b	J103b	J104b	J105b	J106b	Q11b Q12b Q32b Q33b Q34b
J107b	J108c	J109c	J110c	J120b	Q44b Q45b Q46b Q47b Q48b
J121b	J122b				Q49c
【J2. 高密度星】(5)					【R. 銀河】(14)
J217b	J218b	J219c	J220b	J221c	R07b R08c R09b R10b R15b
					R16b R25b R26c R27b R28b
【K. 超新星爆発】(2)					R29b R30b R31b R42c
K03c	K14c				
【L. 太陽系】(3)					【S. 活動銀河核】(13)
L06b	L07c	L08c			S07b S08b S09b S10c S11b
					S12b S13b S14b S15b S16b
【M. 太陽】(13)					S17b S18b S19b
M09b	M10b	M11b	M12b	M13b	
M14b	M16c	M20c	M24c	M26b	【T. 銀河団】(3)
M27b	M28b	M29b			T10b T11b T12b

ポスターセッション 9月11日(木) ~ 9月13日(土)

【U. 宇宙論】(6)

U10b U11b U12c U26c U27c
U28c

【V1. 地上観測機器】(19)

V104b V105b V106b V108b V109b
V110b V111b V112b V113b V114b
V115b V116b V117c V118b V119b
V120b V121b V122b V123b

【V2. 地上観測機器】(19)

V202b V203c V204c V205b V206b
V214b V220b V221b V222b V226b
V227b V228b V231c V235b V236b
V237b V239c V241b V242b

【W1. 飛翔体観測機器】(18)

W101b W102b W103b W104b W105b
W106b W111b W112b W113b W114b
W115b W116b W119b W120b W121b
W122b W123b W124c

【W2. 飛翔体観測機器】(14)

W201b W202b W207b W208b W209b
W212b W213b W214b W215c W216c
W220b W221c W222b W223c

【X. 銀河形成】(9)

X05b X06b X12c X15b X16b
X17b X18b X19b X20b

【Y. 天文教育・他】(11)

Y03b Y04b Y05b Y07b Y08c
Y09b Y10b Y12b Y13b Y14b
Y15b

展示

Exelis VIS (株)

天文データセンター

A. Solar-C で探る新しい太陽物理学とその広がり

9月13日(土) 午前・C会場		9月13日(土) 午後・C会場	
09:30	A01a 太陽活動の未来を探る Solar-C 衛星・(10) 草野完也 (名古屋大学)	13:30	A11r コロナ加熱, 太陽風駆動機構でこれまで分かったことと未解明問題・(18) 鈴木 建 (名古屋大学)
09:40	A02a SOLAR-C 衛星計画の概要・(10) 原 弘久 (国立天文台)	13:48	A12a SOLAR-C の彩層偏光分光観測で探る太陽大気の加熱機構・(12) 勝川行雄 (国立天文台)
09:50	A03a SOLAR-C と海外太陽関連ミッション : 科学的位置づけと観測連携・(10) 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)	14:00	A13a 次期太陽観測衛星 Solar-C による太陽大気における振動・波動研究の展望・(12) 北川直優 (国立天文台)
10:00	A04r Daniel K. Inouye Solar Telescope: Collaborations and synergies between DKIST and SOLAR-C・(18) Valentín Martínez Pillet (National Solar Observatory)	14:12	A14a 真空紫外による彩層・遷移層磁場観測・(12) 鹿野良平 (国立天文台)
10:18	A05a 活動領域形成理論・フレア発生理論と Solar-C 計画への期待・(12) 鳥海 森 (国立天文台)	14:24	A15r Solar-C による太陽の高精度観測で迫る地球気候変動の謎・(18) 高橋幸弘 (北海道大学)
10:30	A06a フレアのトリガ過程に関する観測的研究の現状と課題・(12) 伴場由美 (名古屋大学)	14:42	A16a Solar-C による、さらなる高分解能光球磁場観測のインパクト・(12) 飯田佑輔 (宇宙航空研究開発機構)
10:42	A07a 彩層磁場観測に基づく非線形 force-free 磁場 (NLFFF) モデリング: フレア・コロナ質量放出研究の方向性・(12) 塩田大幸 (名古屋大学)	14:54	A17a 恒星彩層活動の本質を見極める SOLAR-C・(12) 渡邊鉄哉 (国立天文台)
10:54	A08a Solar-C 衛星による太陽フレアに伴う粒子加速現象観測の可能性・(12) 渡邊恭子 (宇宙航空研究開発機構)	15:06	A18a Solar-C 時代における太陽研究と恒星研究のシナジー・(12) 竹田洋一 (国立天文台)
11:06	A09a Solar-C で探る磁気リコネクションの物理・(12) 今田晋亮 (名古屋大学)	15:18	A19a Solar-C の展望 : 科学成果への期待と技術課題 (総合討論)・(12) 一本 潔 (京都大学)
11:18	A10a 彩層のエネルギー散逸メカニズムを握る空間分解以下の構造を超高速撮像で探る・(12) 磯部洋明 (京都大学)		A20c Mg II k, h 線と Ca II K 線の形成高度の比較と Solar-C/SUVIT の紫外線観測の役割 川手朋子 (京都大学)
			A21c 地上観測の限界と Solar-C 光学磁場望遠鏡 一本 潔 (京都大学)
			A22c 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡を用いた彩層磁場の測定 阿南 徹 (京都大学)

B. 電波及び光赤外線での大学間連携

9月12日(金) 午前・D会場		9月12日(金) 午後・D会場	
09:30	B01r 大学 VLBI 連携事業、光赤外線大学連携事業の狙い・(15) 面高俊宏 (鹿児島大学)	11:33	B14b 可視・近赤外撮像データに対する測光パイプラインの開発・(3) 齊藤嘉彦 (東京工業大学)
09:45	B02r 大学間連携による光・赤外線天文学研究教育拠点のネットワーク構築・(15) 関口和寛 (国立天文台)		B15c 光赤外線大学間連携共同大型実験棟 永山貴宏 (鹿児島大学)
10:00	B03a 東京大学アタカマ天文台 (TAO)6.5m 望遠鏡計画・(12) 吉井 讓 (東京大学)	13:30	B16b 京大岡山 3.8m 望遠鏡における波面測定技術の開発・(3) 木野 勝 (京都大学)
10:12	B04a 大学間連携で推し進めてきた京大岡山 3.8m 望遠鏡計画の技術開発・(12) 長田哲也 (京都大学)	13:33	B17b 京大 3.8m 望遠鏡における惑星探査計画 (SEICA) : 概念設計と性能評価・(3) 松尾太郎 (京都大学)
10:24	B05r 大学 VLBI 連携の活動報告・(15) 藤沢健太 (山口大学)	13:39	B18b 光赤外線大学間連携事業による IRSF1.4m 望遠鏡用可視・近赤外線同時分光器の開発・(3) 國生拓摩 (名古屋大学)
10:39	B06a 北海道大学苫小牧 11m 電波望遠鏡プロジェクトと大学 VLBI 連携事業・(12) 徂徠和夫 (北海道大学)	13:42	B19b チベット西部域における光赤外線天体観測環境調査 (VIII)・(3) 佐々木敏由紀 (国立天文台)
10:51	B07a つくば 32m 電波望遠鏡を用いた筑波大学による運用と観測成果・(12) 金子紘之 (筑波大学)	13:48	B20a 大学連携 VLBI および東アジア VLBI 網における C-X 帯、K 帯フロントエンドの開発・(12) 木村公洋 (大阪府立大学)
11:03	B08a 岐阜大学の VLBI 活動・(12) 高羽 浩 (岐阜大学)	14:00	B21a 東アジア VLBI 観測網構築に向けた試験観測の状況・(12) 萩原喜昭 (国立天文台)
11:15	B09b 茨城観測局 高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の立ち上げ・(3) 米倉覚則 (茨城大学)	14:12	B22a JVN サブアレイ OCTAVE の進捗と今後の JVN 観測モード拡張・(12) 小山友明 (国立天文台)
11:18	B10b 西はりま天文台「なゆた望遠鏡」の運用・(3) 伊藤洋一 (兵庫県立大学)	14:24	B23r 光赤外大学間連携とかなた望遠鏡による Narrow Line Seyfert 1 Galaxy 1H 0323+342 の可視観測・(15) 田中康之 (広島大学)
11:21	B11b 光赤外線大学間連携観測の円滑な遂行に向けた環境整備・(3) 秋田谷洋 (広島大学)	14:39	B24r 光赤外線大学間連携における超新星爆発の ToO 観測状況報告 II・(15) 山中雅之 (甲南大学)
11:27	B12b 光赤外線大学間連携による観測教育ネットワーク OISTER・(3) 黒田大介 (国立天文台)		
11:30	B13b 光・赤外線天文学大学間連携による短期滞在実習プログラムの実施 II・(3) 大朝由美子 (埼玉大学)		

14:54	B25a	光赤外線大学間連携での矮新星の観測の狙い・(12) 野上大作 (京都大学)	10:12	B36b	大学 VLBI 連携を用いた近傍銀河 AGN のアンモニア吸収線観測計画・(3) 宮本祐介 (茨城大学)
15:06	B26a	光赤外線大学間連携 OISTER チームによる Nova Delphini 2013 = V339 Del の ToO 観測・(12) 関口和寛 (国立天文台)	10:18	B37b	高感度 VLBI 観測による未同定ガンマ線源に付随する高輝度電波源サーベイ・(3) 新沼浩太郎 (山口大学)
15:18	B27b	光赤外線大学間連携における Ic 型超新星 SN 2013ge の初期観測報告・(3) 山中雅之 (甲南大学)	10:21	B38b	多地点連携によるカニパルサー電波高時間分解能観測・(3) 三上 諒 (東京大学)
15:21	B28b	光赤外線大学間連携を通じた矮新星観測とその成果・(3) 大島誠人 (京都大学)	B39c	EAVN による 6.7 GHz メタノール・メーザーの VLBI サーベイ IX : ペア形状天体の内部固有運動 蜂須賀一也 (山口大学)	
15:24	B29b	若い小惑星族の高速自転小惑星候補の観測・(3) 吉田二美 (国立天文台)	B40c	国土地理院つくば 32m 電波望遠鏡によるアンモニア分子反転遷移輝線の銀河系中心領域広域サーベイ観測 III 荒井 均 (国立天文台)	
	B30c	短周期彗星 209P/LINEAR の光赤外線天文学大学間連携による観測 石黒正晃 (ソウル大学)	B41c	Sgr A* at 22 GHz around the G2 pericenter passing with Japanese VLBI Network 朝木義晴 (宇宙航空研究開発機構)	
9月13日(土) 午前・D会場					
09:30	B31a	Trigonometric distance to IRAS 20056+3350: Massive star forming region on the Solar circle・(12) Ross Alexander Burns (Kagoshima University)	10:27	B42r	大学間連携による AGN ジェットの多波長観測・(15) 伊藤亮介 (広島大学)
09:42	B32a	EAVN による 6.7 GHz メタノール・メーザーの固有運動計測プロジェクト・(12) 杉山孝一郎 (山口大学)	10:42	B43a	可視変動により見つかった radio-loud narrow line Seyfert 1 の多波長観測・(12) 諸隈智貴 (東京大学)
09:54	B33a	茨城 32-m 鏡による 6.7 GHz メタノールメーザー源の単一鏡強度モニター・(12) 米倉覚則 (茨城大学)	10:54	B44a	鹿児島大学における VLBI および光赤外線大学間連携事業による変光星の観測的研究・(12) 中川亜紀治 (鹿児島大学)
10:06	B34b	EAVN による 6.7GHz メタノール・メーザーの VLBI サーベイ VIII・(3) 松本尚子 (国立天文台)	11:06	B45a	大学間連携望遠鏡によるガンマ線バーストの観測・(12) 河合誠之 (東京工業大学)
10:09	B35b	大質量原始星ジェットに付随する青方偏移卓越メーザー観測プロジェクト・(3) 元木業人 (山口大学)	11:18	B46a	OISTER・すざくによる 2FGL J2339.6-0532 の観測・(12) 谷津陽一 (東京工業大学)

C. 星間水素の相転移を軸とする新たな天文学

9月11日(木) 午前・D会場			
11:00	C01r 星間水素の高精度な定量による天文学の展開・(30) 大西利和 (大阪府立大学)	16:18	C12a 宇宙マイクロ波背景放射偏光観測衛星 LiteBIRD 計画の概要と前景放射除去・(12) 片山伸彦 (東京大学)
11:30	C02a 星間水素雲の正確な質量決定について・(12) 福井康雄 (名古屋大学)	16:30	C13a 臼田宇宙空間観測所 64m 電波望遠鏡による中性水素原子ガス 21cm 線の観測・(12) 中西裕之 (鹿児島大学)
11:42	C03a Planck 衛星のサーベイデータと星間ガスの比較解析: CrA 領域・(12) 山本宏昭 (名古屋大学)	16:42	C14b Planck 衛星のサーベイデータを用いた星間水素の高精度定量の手法について・(3) 福井康雄 (名古屋大学)
11:54	C04a おうし座分子雲に付随する冷たい HI ガスの定量・(12) 土橋一仁 (東京学芸大学)	16:45	C15b Planck 衛星によるダストデータと星間ガスの比較解析: 高銀緯分子雲領域における比較・(3) 岡本竜治 (名古屋大学)
12:06	C05r 星間媒質の動的進化過程・(30) 井上剛志 (国立天文台)	16:48	C16b Planck 衛星のサーベイデータと星間ガスの比較研究: カメレオン領域・(3) 早川貴敬 (名古屋大学)
12:36	C06r ダスト表面における水素分子形成過程: 実験からのアプローチ・(30) 渡部直樹 (北海道大学)		
9月11日(木) 午後・D会場			
15:00	C07a ジェットと星間水素ガス相互作用による Westerlund2 星団方向の分子雲形成シミュレーション・(12) 朝比奈雄太 (千葉大学)		
15:12	C08a HI ガスの速度構造に見る二相媒質星間乱流・(12) 立原研悟 (名古屋大学)		
15:24	C09a Formation of Dense Filaments by Parker Instability in Galactic Gas Disks・(12) Chih-Han Peng (Chiba Univ.)		
15:36	C10a H_3^+ の赤外線スペクトルによる銀河中心の観測・(12) 白田知史 (国立天文台)		
15:48	C11r GeV ガンマ線観測による星間ガス・宇宙線研究の現状・(30) 水野恒史 (広島大学)		

J1. 高密度星

9月11日(木) 午後・E会場		9月12日(金) 午前・E会場	
16:24	J101a Sommerfeld 展開の打ち切りによる一般化 Fermi-Dirac 積分の解析的計算 福島登志夫(国立天文台)	09:30	J111a MAXI/GSC が発見検出した 2014 年度前半の突発天体と MAXI/SSC データを用いた突発天体発見システムの現状 福島康介(日本大学)
16:36	J102b Cyg X-3 の電波クエンチ状態時の X 線スペクトル 三原建弘(理化学研究所)	09:42	J112a Spectral and lightcurve orbital modulation of Vela X-1 observed with MAXI Christian Malacaria (RIKEN)
16:36	J103b 中性子星 LMXB GRS1747-312、大幅な食の周期変化? 佐治重孝(名古屋大学)	09:54	J113a MAXI/GSC と Fermi/GBM の X 線モニター観測から探る X 線連星パルサーの光度とスピン周期変化の関係 杉崎 睦(理化学研究所)
16:36	J104b MAXI を用いた超巨大ブラックホールによる星潮汐破壊現象の発生頻度の見積もり 川室太希(京都大学)	10:06	J114a 新天体 MAXI J1409-619 の MAXI による発見と Swift、RXTE による追観測 山岡和貴(名古屋大学)
16:48	J105b X 線天文衛星「すざく」による NGC4945 中心核近傍のブラックホール候補天体の発見 久留飛寛之(大阪大学)	10:18	J115a MAXI/GSC と Swift/BAT による NS-LMXB の状態遷移と外側降着円盤 浅井和美(理化学研究所)
16:48	J106b ブラックホール X 線連星のかなた望遠鏡を用いた可視・近赤外線偏光観測 神田優花(広島大学)	10:30	J116a 中性子星観測による状態方程式の制限 祖谷 元(国立天文台)
16:48	J107b 超臨界降着円盤の一般相対論的輻射磁気流体シミュレーション 高橋博之(国立天文台)	10:42	J117a Suzaku observation of eclipsing source EXO 0748-676 in the LHS Zhongli Zhang (The University of Tokyo)
	J108c 磁気星の軸性と極性方向振動の時間発展による数値解析 小嶋康史(広島大学)	10:54	J118a 「すざく」による大質量星中性子星連星 4U 1700-37 の解析 室田優紀(東京大学)
	J109c カラー超伝導状態のクォーク物質の核を持つ高密度星の熱的進化 野田常雄(久留米工業大学)	11:06	J119a 「すざく」による特異な低質量星と中性子星の連星 GRO J1744-28 の観測 笹野 理(東京大学)
	J110c ブラックホール候補天体 V4641 Sgr の小規模アウトバーストの X 線モニタ観測 山岡和貴(名古屋大学)	11:18	J120b 「すざく」の観測によるバースティングパルサー GRO J1744-28 の鉄バンドのスペクトル構造の解析 岩井将親(東京工業大学/宇宙航空研究開発機構)
		11:18	J121b MAXI で求めた X 線パルサーのパルス周期とその変化率のエラーの見積り 高木利紘(理化学研究所/日本大学)
		11:18	J122b 低質量 X 線連星 MAXI J1421-613 の発見 芹野素子(理化学研究所)

9月12日(金) 午後・E会場		9月13日(土) 午前・E会場	
13:30	J123a 「すざく」で観測された MAXI J1659-152 のエネルギースペクトル 宮崎直人 (首都大学東京)	09:30	J133a マグネター 4U 0142+61 における自由歳差運動の徴候 II 牧島一夫 (東京大学 / 理研)
13:42	J124a 「すざく」衛星「XIS」検出器の P-sum モードを用いたブラックホール連星の X 線吸収線の短時間変動の解析 水本岬希 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	09:42	J134a 長周期パルサー 1E 161348-5055 を伴う超新星残骸 RCW 103 の「すざく」による観測的研究 古田祿大 (東京大学)
13:54	J125a 「すざく」衛星を用いたブラックホール連星 Cygnus X-1 の high/soft 状態のハード成分の詳細解析 吉川瑛文 (理化学研究所 / 東京理科大学)	09:54	J135a 自由歳差運動する中性子星からのパルス放射の定式化 村上浩章 (東京大学)
14:06	J126a ブラックホール候補天体における熱伝導を考慮した明るいハードステート円盤のモデル 谷田部紘希 (千葉大学)	10:06	J136a 「すざく」衛星によるマグネターの X 線定常放射のエネルギー依存性のある強度揺らぎの研究 中川友進 (宇宙航空研究開発機構)
14:18	J127a ブラックホール風の見かけの光球と熱化面とスペクトル: 波長依存性を考慮した計算 II 富田瑞穂 (大阪教育大学)	10:18	J137a すざく衛星搭載 WAM 検出器による AXP 1E1547.0-5408 の硬 X 線バーストの観測 (II) 安田哲也 (埼玉大学)
14:30	J128a 相対論的平行平板流の相対論的形式解とエディントン因子の振る舞い 福江 純 (大阪教育大学)	10:30	J138a 自転周期のきわめて遅い X 線パルサー 4U 1954+319 のすざく観測 榎戸輝揚 (理化学研究所)
14:42	J129a 時間依存型輻射輸送方程式を解く特殊相対論的流体力学計算の新解法 大須賀 健 (国立天文台 / 総合研究大学院大学)	10:42	J139a 軟ガンマ線リピーターの再帰的バーストに対する自己組織化臨界モデル 中里健一郎 (東京理科大学)
14:54	J130a ブラックホールを周回する“ホットスポット”の見え方 高橋真聡 (愛知教育大学)	10:54	J140a X 線パルサー GX 1+4 の「すざく」による観測 II 鈴木大朗 (立教大学)
15:06	J131a ブラックホールに落下するガスプロブとスピン測定の新方法 森山小太郎 (京都大学)	11:06	J141a 非一様回転する星の low T/W 不安定性とトロイダル磁場構造 藤澤幸太郎 (早稲田大学)
15:18	J132a バイナリーブラックホール降着円盤の重力レンズ撮像 伊地知翔真 (京都大学)	11:18	J142a 中性子星からストレンジクォーク星への転換過程 古澤 峻 (国立天文台)

J2. 高密度星

9月13日(土) 午後・E会場		9月11日(木) 午前・E会場	
13:30	J143a IRSF/SIRIUS を用いた TeV ガンマ線連星 LS 5039 の近赤外観測 吉田裕美 (東海大学)	11:00	J201a Probing Relativistic Supernova Explosions with Multi-Band Synchrotron Emission 仲内大翼 (京都大学)
13:42	J144a Change of Pulsar State in the Gamma-ray Binary HESS J0632+057 岡崎敦男 (北海学園大学)	11:12	J202a Swift/BAT を用いた GRB のスペクトルラグの解析 川久保雄太 (青山学院大学)
13:54	J145a TeV γ 線連星 HESS J0632+057 における遠星点後の相互作用 森谷友由希 (広島大学)	11:24	J203a 低光度ガンマ線バーストのジェットモデルと濃い星周物質との相互作用 鈴木昭宏 (京都大学)
14:06	J146a パルサー磁気圏の粒子加速機構: 沿磁力線電場加速 + 垂直電場加速モデル 和田智秀 (筑波技術大学)	11:36	J204a ガンマ線バースト可視残光からの円偏光発見 當真賢二 (東北大学)
14:18	J147a 強い超光速波中の相対論的電子からの放射 寺木悠人 (理化学研究所)	11:48	J205a 三次元相対論的流体ミュレーションから探る相対論的ジェットからの光球面放射 伊藤裕貴 (理化学研究所)
14:30	J148a 大質量中性子星からの neutrino-driven wind における重元素合成過程 藤林 翔 (京都大学)	12:00	J206a 乱流電子加速に基づくガンマ線バーストスペクトルの再現 浅野勝晃 (東京大学)
14:42	J149a 可視光追観測で Fast Radio Burst の起源を探る 新納 悠 (国立天文台)	12:12	J207a ガンマ線バーストにおけるパイオン・ミュオンの衝撃波加速と高エネルギーニュートリノスペクトルへの影響 川中宣太 (東京大学)
14:54	J150a 連星中性子星合体からの質量放出とその状態方程式依存性 関口雄一郎 (京都大学)	12:24	J208a 重力波源としての短時間ガンマ線バーストの発生率 鳥屋子あすか (金沢大学)
15:06	J151a ブラックホール中性子星連星合体のスピンの傾きに対する依存性の研究 川口恭平 (京都大学)	12:36	J209a 中性子星連星合体の残光放射と加速電子の時間発展シミュレーション 杜 駿 (東京大学)
15:18	J152a ガスによる力学的摩擦を考慮した原始銀河ブラックホールの合体過程の研究 田川寛通 (東京大学)	12:48	J210a 巨新星の光度曲線 木坂将大 (KEK 素核研)

K. 超新星爆発

9月11日(木) 午後・E会場		9月13日(土) 午前・I会場	
15:00	J211a 遅い古典新星の光度曲線とその絶対等級 蜂巢 泉 (東京大学)	09:30	K01a 大質量連星系内での超新星爆発が伴星に与える影響とそのパラメータ依存性 平井遼介 (早稲田大学)
15:12	J212a 新星の最短周期 加藤万里子 (慶應義塾大学)	09:42	K02a 連星白色矮星の合体に伴う星周物質の形成 谷川 衝 (理化学研究所)
15:24	J213a 共生星 R Aquarii の 1073/1074 年新星爆発に対する地質学的痕跡 田邊健茲 (岡山理科大学)		K03c 白色矮星連星の合体と構造 佐藤裕史 (東京大学)
15:36	J214a 変形した円盤での波と波との共鳴励起一磁場が存在する場合一 加藤正二 (京都大学O B)	09:54	K04a 近傍銀河 M82 に現れた赤化の大きな Ia 型超新星 SN 2014J の偏光特性 川端弘治 (広島大学)
15:48	J215a 成長過程の superhump を用いた AM CVn 型激変星の質量比の初の推定 磯貝桂介 (京都大学)	10:06	K05a 暗い IIP 型超新星の観測的性質と相関関係について 増本一成 (大阪教育大学)
16:00	J216a 強磁場激変星 V1223 Sgr の鉄 K α 輝線構造の時間変動解析 湯浅孝行 (理化学研究所)	10:18	K06a ショックブレイクアウトが見られた IIb 型超新星 SN 2013df の後期観測 川端美穂 (広島大学)
16:12	J217b 特異な新星 MAXI J0158-744 の形成過程について 衣川智弥 (京都大学)	10:30	K07a カムランドにおける超新星前兆ニュートリノの検出可能性 石徹白晃治 (東北大学)
16:12	J218b 新星爆発時に発生する X 線突発現象の探索 森井幹雄 (理化学研究所)	10:42	K08a 超新星爆発からの重力波とニュートリノの同時観測 端山和大 (大阪市立大学)
	J219c 複雑な光度変化を示す新星 Nova Cygni 2014 の測光及び分光観測 今村和義 (岡山天文博物館 / 岡山理科大学)	10:54	K09a 銀河の金属量進化を考慮した超新星背景ニュートリノのスペクトル予測 持田恵里 (東京理科大学)
16:12	J220b Swift BAT からの GCN notice を利用した short GRB 早期推定法 松林和也 (京都大学)	11:06	K10a 数値計算で探る重力崩壊型超新星の系統的性質 中村 航 (早稲田大学)
	J221c 超相対論的流体中の衝撃波における輻射輸送シミュレーション手法の検証 石井彩子 (東北大学)	11:18	K11a 重力崩壊型超新星爆発と流体力学的不安定性に与える回転の影響 岩上わかかな (京都大学)
		11:30	K12a 磁気回転不安定増幅磁場に助けられるニュートリノ加熱爆発 澤井秀朋 (高度情報科学技術研究機構 / 早稲田大学)
		11:42	K13a 多次元ニュートリノボルツマン流体コード開発 長倉洋樹 (京都大学)
			K14c collapsar の降着円盤からの磁気粘性アウトフローにおける r-process 福田遼平 (九州大学)

L. 太陽系

M. 太陽

9月11日(木) 午前・J会場		9月11日(木) 午後・C会場	
11:00	L01a 「あかり」遠赤外線拡散光全天マップ中の小惑星ダストバンドの構造 大坪貴文(東京大学)	15:00	M01a 太陽フレアの前兆現象における非熱的粒子の研究 梶田聡史(東海大学)
11:12	L02a CIBER/LRSによる近赤外波長域における黄道光の偏光分光観測 新井俊明(宇宙航空研究開発機構)	15:12	M02a 2013年3月15日に発生したフィラメント放出を伴うフレアの多波長観測 大山真満(滋賀大学)
11:24	L03a 新しく予報された「きりん座流星群」の観測から探る母天体の過去の彗星活動 佐藤幹哉(かわさき宙と緑の科学館)	15:24	M03a 太陽コロナにおけるフィラメント噴出の分光観測 神田夏央(名古屋大学)
11:36	L04a ラブジョイ彗星(C/2013 R1)のダストテイルの偏光撮像観測 鈴木文二(埼玉県立春日部女子高校)	15:36	M04a 2013年5月13日に発生したXクラスフレアの電波と硬X線の同時観測2 増田 智(名古屋大学)
11:48	L05a ラブジョイ彗星(C/2013 R1)のダストコマの偏光撮像観測 古荘玲子(都留文科大学/国立天文台)	15:48	M05a 白色光フレアと非白色光フレアの非熱的電子の振り込み領域に関する研究 北川 潤(名古屋大学)
12:00	L06b パンスタース彗星(C/2011 L4)の中間赤外線観測 大坪貴文(東京大学)	16:00	M06a AMATERASによって観測された太陽電波IV型バースト中のzebra patternの出現特性 金田和鷹(東北大学)
	L07c メインベルト小惑星の物質分布 白井文彦(東京大学)	16:12	M07a 野辺山電波ヘリオグラフ及びSDO衛星を用いたコロナ視線磁場の測定 宮脇 駿(茨城大学)
	L08c 2009-14年の木星南赤道帯のHazeの光学的厚さの変化について 浅田 正(九州国際大学)	16:24	M08a 野辺山45m電波望遠鏡を用いた太陽彩層のミリ波観測 岩井一正(国立天文台)
		16:36	M09b 東北大学 HF~VHF帯太陽電波観測装置の開発-III 三澤浩昭(東北大学)
		16:36	M10b AMATERASで観測された太陽電波II型バーストにおけるスペクトル微細構造の統計解析 柏木啓良(東北大学)
		16:36	M11b 太陽高エネルギー粒子スペクトルの変化について 久保勇樹(情報通信研究機構)
		16:48	M12b 太陽フレアに伴い「ひので」X線望遠鏡CCDで検出されたSpeckleの増減 山田正矩(茨城大学)
		16:48	M13b サイクル24における地磁気擾乱の原因となった太陽活動について 亙 慎一(情報通信研究機構)

16:48	M14b EUV 波自動検出プログラムの開発とその結果による統計解析 阿部修平 (茨城大学)	11:06	M26b 磁気リコネクションの物理を考慮に入れた1次元フレアモデルの提案 高棹真介 (京都大学)
9月12日(金) 午前・C会場		11:06	M27b 非対称電流シートでの磁気リコネクションの不連続構造 新田伸也 (筑波技術大学)
09:30	M15a Investigating prominence turbulence with Hinode SOT dopplergrams Andrew Hillier (Kyoto Uni.)	11:06	M28b Investigation on guide field dependence of “shock-evoking positive-feedback” model of magnetic reconnection Shuoyang Wang (The University of Tokyo)
	M16c Analytic investigation of the magnetic Rayleigh-Taylor instability in a stratified atmosphere Andrew Hillier (Kyoto Uni.)	11:18	M29b 彩層活動領域・超半暗部の高空間分解観測 大井瑛仁 (京都大学)
09:42	M17a 光球磁場と彩層磁気活動ジェットとの関連性について 西塚直人 (情報通信研究機構)	9月12日(金) 午後・C会場	
09:54	M18a ひので-IRISの共同観測：波動散逸の現場に迫る 岡本文典 (宇宙航空研究開発機構)	13:30	M30a 狭帯域チューナブルフィルターによる彩層イメージング分光観測 萩野正興 (京都大学)
10:06	M19a IRISの観測による彩層加熱過程 馬場楓子 (東京大学)	13:42	M31a 京都大学飛騨天文台太陽観測データアーカイブの整備 石井貴子 (京都大学)
	M20c 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡とIRISを用いた活動領域近傍における小規模活動現象の分光観測 大辻賢一 (国立天文台)	13:54	M32a 磁気要素の自動追跡モジュールを用いた太陽黒点の成長/崩壊過程の解析 加藤翔大 (名古屋大学)
10:18	M21a 二流体シミュレーションによる部分電離プラズマ中の電流シートとプラズモイド形成の研究 中村尚樹 (京都大学)	14:06	M33a 対流層内部の小スケール磁場の流れ場への非常に強い揺り返しの発見 横山央明 (東京大学)
10:30	M22a コロナループ中におけるAlfven波散逸機構の競合関係について 松本琢磨 (宇宙航空研究開発機構)	14:18	M34a 大局的磁場の振動周期およびマイグレーションと磁気ヘリシティ損失 政田洋平 (神戸大学)
10:42	M23a プラズマ中の磁気拡散と磁気リコネクションへの応用 銭谷誠司 (国立天文台)	14:30	M35a Photospheric Flow Field Related to the Appearance and Disappearance of Polar Magnetic Patches observed with Hinode SOT Anjali John Kaithakkal (The Graduate University of Advanced Studies, NAOJ)
	M24c プラズモイド型リコネクションにおける圧縮性効果 銭谷誠司 (国立天文台)	14:42	M36a 2012.5.21 金環日食限界線観測による太陽半径の精密観測 山村秀人 (NPO 法人花山星空ネットワーク)
10:54	M25a 活動領域形成過程における自由エネルギー蓄積機構について 高棹真介 (京都大学)		

N. 恒星

9月11日(木) 午前・G会場		9月11日(木) 午後・G会場	
11:00	N01a 宇宙初期の漸近巨星分枝星での炭素ダスト形成と質量放出 II 田染翔平 (東京大学)	13:00	N13a 大質量星クラスター LMC/30Dor の近赤外狭帯域フィルター撮像観測 高橋英則 (東京大学)
11:12	N02a AGB 星の周縁部で形成されるダストのサイズ分布 保田悠紀 (北海道大学)		N14c なゆた /VTOS 及びすばる /IRCS を用いたベテルギウスの観測 三浦則明 (北見工業大学)
11:24	N03a 長期多色測光観測から見た AGB 星の Long Secondary Period(LSP) 問題 高山正輝 (東北大学)		N15c 位置天文観測によるミラ型変光星の周期光度関係確立 中川亜紀治 (鹿児島大学)
11:36	N04a 赤外観測で探る V445Pup の大規模な星周ダストの存在と起源 島本早也佳 (東京大学)		
11:48	N05a 早期型星の X 線放射機構の観測的研究 津村大樹 (立教大学)	15:00	N16a Asteroseismology of Solar-like pulsators: determination of the stellar spin axis angle for HAT-P-7 and Kepler-25 and implications for their exoplanets Othman Michel Benomar (University of Tokyo)
12:00	N06a Swift/XRT による Wolf-Rayet 連星系 WR 21a のモニタリング観測 菅原泰晴 (中央大学)	15:12	N17a 星震学で明らかになった A 型主系列星 KIC 11145123 の内部自転について 高田将郎 (東京大学)
12:12	N07a IIb 型超新星 SN 2011dh の黄色巨星親星の最終進化における質量放出 前田啓一 (京都大学)	15:24	N18a 自転星の特異な固有振動モード、ロゼットモードの非断熱解析 斉尾英行 (東北大学)
12:24	N08b IIIn 型超新星 SN 2005ip : X 線のマルチエポック観測で明らかにした厚い星周物質を抜け出す爆風 勝田 哲 (宇宙航空研究開発機構)	15:36	N19a 恒星の進化に伴う differential rotation の生成と成長 勝田 豊 (北海道大学)
12:24	N09b 強い X 線放射を示す G 型星の岡山 188cm 望遠鏡を用いた高分散分光観測 野津湧太 (京都大学)	15:48	N20a 質量座標系による回転平衡形状の導出、および恒星進化への応用 安武伸俊 (千葉工業大学)
12:24	N10b 中央大学望遠鏡 CAT による MAXI で検出されたフレア星の可視光測光モニター 三宅梢子 (中央大学)	16:00	N21a 金属欠乏星における表面汚染と hyper metal-poor stars 小宮 悠 (東京大学)
12:36	N11a ぐんま天文台による巨大フレア天体 HD347929 の高分散可視光分光観測 川越淳史 (中央大学)	16:12	N22a 超金属欠乏 AGB 星での中性子捕獲を伴う核種合成過程と Hyper Metal-poor stars 山田志真子 (北海道大学)
12:48	N12a 大質量星クラスター Westerlund 1 の近赤外狭帯域フィルター撮像観測 奥村真一郎 (日本スペースガード協会)		

P1. 星・惑星形成

		9月12日(金) 午前・G会場
16:24	N23a 連星仮説に基づく超金属欠乏星の起源と Hyper Metal-Poor Stars 須田拓馬 (東京大学)	09:30 P101a W40 に付随する分子雲の $^{12}\text{CO}(J=3-2)$ 及び $\text{HCO}^+(J=4-3)$ 観測 下井倉ともみ (東京学芸大学)
16:36	N24a 光度の中間値比を用いた食連星のタイプ分類 三舛慧人 (九州大学)	09:42 P102a おうし座暗黒星雲における高密度分子雲コアの大局的分布 大崎茂樹 (大阪府立大学)
16:48	N25b Kepler 衛星によって得られた食連星にみられる食の周期変動について 高妻真次郎 (中京大学)	09:54 P103a ALMA による IRDC clump G34.43+00.24 MM3 に対する DNC/HNC の観測 酒井 剛 (電気通信大学)
		10:06 P104a ALMA による IRDC Clump G34.43+00.24 MM3 に対する 278 GHz Class I CH_3OH メーザーの観測 柳田貴大 (電気通信大学)
		10:18 P105a 若い大質量原始星 NGC 2264 CMM3 における 70 GHz 帯分子輝線サーベイ 渡邊祥正 (東京大学)
		10:30 P106a オリオン分子雲中の星形成直前のコアの発見—CCS で囲まれた熱的 NH_3 コア— 立松健一 (国立天文台)
		10:42 P107a オリオン座 A 分子雲コアの化学進化 大橋聡史 (東京大学)
		10:54 P108b NGC2264-C 領域で検出された長時間フレア 兼藤聡一郎 (中央大学)
		10:54 P109b Mopra mapping observations with multi-lines of dense cores in Lupus I 清兼和紘 (東京大学)
		10:54 P110b NRO Star Formation Legacy Project I. High abundance ratio of ^{13}CO to C^{18}O toward photon-dominated regions in the Orion-A giant molecular cloud 島尻芳人 (CEA/Saclay)
		11:06 P111b 星形成レガシープロジェクト II. オリオン座 A 分子雲の野辺山 45m 鏡を用いた $^{13}\text{CO}(1-0)$ 輝線広域マッピング 原 千穂美 (東京大学 / 国立天文台)

11:06	P112b 星形成レガシープロジェクト III. カリフォルニア分子雲の分子分光観測 山日彬史 (東京学芸大学)	14:54	P124b 野辺山 45m 鏡搭載 Z45 受信機によるペルセウス座領域の CCS マッピング 米谷夏樹 (東京学芸大学)
11:06	P113b 星形成レガシープロジェクト IV. 大質量星形成領域 DR21 の分子輝線観測 片倉 翔 (東京学芸大学)	14:54	P125b 暗黒星雲コア L1544 の進化・形成と化学組成の観測的研究 種倉平晃 (大阪府立大学)
	P114c 星形成レガシープロジェクト V. W40 領域の分子分光観測 秦野義子 (東京学芸大学)	14:54	P126b NRO 45 m/IRAM 30 m を用いた L1527 ラインサーベイ 吉田健人 (東京大学)
9月12日(金) 午後・G会場			
13:30	P115a A Chemical View of Protostellar-Disk Formation in L1527 坂井南美 (東京大学)	15:06	P127b 円盤形成時の衝撃波による揮発性分子の昇華 相川祐理 (神戸大学)
13:42	P116a 若い原始星に付随するエンベロープおよびアウトフローのモデル解析 大屋瑤子 (東京大学)	15:06	P128b へびつかい座分子雲に属する前主系列星の円盤進化タイムスケール 高木悠平 (兵庫県立大学西はりま天文台)
13:54	P117a 原始惑星系円盤の炭素、窒素の化学と N_2H^+ リング 相川祐理 (神戸大学)	15:06	P129b Magnetic Field in The Isolated Massive Dense Clump IRAS 20126+4104 - A Study Across A High Spatial Dynamic Range: From 1 Parsec Scale Down To 20 AU Scale Hiroko Shinnaga (National Astronomical Observatory of Japan)
14:06	P118a Class-I 超低光度天体 L1709#5 に対する観測的研究 原 千穂美 (東京大学 / 国立天文台)	15:18	P130b 星団内における原始惑星系円盤からのガス散逸 本山一隆 (国立情報学研究所)
14:18	P119a Probing the growth of IC5146 by filamentary accretion 島尻芳人 (CEA/Saclay)	15:18	P131b ファーストコアの角運動量進化における輻射および非理想磁気流体効果の影響 塚本裕介 (名古屋大学)
14:30	P120a A Dynamically Collapsing Core and Precursor of a Core in a Filament 古屋 玲 (徳島大学)	15:18	P132b 原始星ジェットの進化 町田正博 (九州大学)
14:42	P121b 1.85m 電波望遠鏡による銀河面分子雲の広域探査 IV 澤村将太郎 (東京学芸大学)		
14:42	P122b W3 Main における分子ガス構造と星団形成との関係の解明 齋藤弘雄 (日本工業大学)		
14:42	P123b 野辺山 45m 電波望遠鏡搭載 45 GHz 受信機 (Z45) の試験観測 落合 哲 (東京学芸大学)		

9月13日(土) 午前・G会場		9月13日(土) 午後・G会場	
09:30	P133a JVLA/ATCAによる大質量原始星 ジェット天体に付随する降着円盤候補 の検出 元木業人(山口大学)	13:30	P141a 乱流分子雲におけるフィードバックの シミュレーション 島和宏(北海道大学)
09:42	P134a 大質量星形成領域 IRAS18089-1732 のメタノールレーザー観測 志野渚(総合研究大学院大学)	13:42	P142a 乱流と衝突をともなう高密度分子雲に おける集団的星形成 松本倫明(法政大学)
09:54	P135a VERAとALMAを用いたオリオンKL 水レーザーバースト天体の観測 廣田朋也(国立天文台)	13:54	P143a 磁化した衝撃波圧縮層における大質 量フィラメント形成 岩崎一成(名古屋大学)
10:06	P136a メタノールレーザーの強度変動を伴う 天体 MonR2-IRS3 の近赤外線モニター 観測 内山瑞穂(東京大学)	14:06	P144a ENZO codeによる分子雲衝突の3次 元高解像度数値シミュレーションIV 羽部朝男(北海道大学)
10:18	P137a ブライトリム分子雲の磁場構造の包括 的研究 楠根貴成(名古屋市立大学)	14:18	P145a Radiation Magnetohydrodynamic Simulations of Protostellar Collapse: Ambipolar Diffusion and Ohmic Dissipation 富田賢吾(Princeton University / University of Tokyo)
10:30	P138a Impact of the Initial Disk Mass Function on the Disk Fraction 大澤亮(東京大学)	14:30	P146a 時間変動降着下での超大質量星形成 計算 櫻井祐也(東京大学)
10:42	P139a V1247 Oriに付随する遷移円盤の Subaru/HiCIAOによる近赤外撮像観測 大田百合菜(大阪大学)	14:42	P147a Forming the First Stars in 3D: 電離領 域形成に伴う質量降着抑制 細川隆史(東京大学)
10:54	P140a 銀河系内縁部の星生成領域 Quartet におけるHAeBe星候補:長い円盤寿 命の可能性 安井千香子(東京大学)	14:54	P148a 異なる金属量における星形成後期段 階の進化 中村鉄平(九州大学)
		15:06	P149a 始原的パワースペクトルの不定性が初 代星形成に及ぼす影響 平野信吾(東京大学)
		15:18	P150a 低金属量ガス雲の重力収縮シミュレ ーションII 千秋元(東京大学)
		15:30	P151a 超大質量星形成に必要な紫外線強度 のスペクトル依存性 杉村和幸(東北大学)

P2. 星・惑星形成

9月11日(木) 午前・F会場		12:48	P214b シミュレーションから予想される散開星団内の星の惑星保有率 藤井通子 (国立天文台)
11:00	P201a 原始惑星系円盤形成期における自己重力的分裂過程の再考 高橋実道 (京都大学)	9月11日(木) 午後・F会場	
11:12	P202a 自己重力円盤の構造とその分裂における輻射過程の影響 塚本裕介 (名古屋大学)	15:00	P215a 円盤風を考慮した原始惑星系円盤中での惑星の軌道進化 小林 浩 (名古屋大学)
11:24	P203a 自己重力不安定な円盤における巨大ガス惑星の軌道進化 植田高啓 (東京工業大学)	15:12	P216a 原始惑星の衝突に伴う離心率進化 松本侑士 (国立天文台)
11:36	P204a 回転不安定から考える原始惑星系円盤の外側領域の構造 小野智弘 (京都大学)	15:24	P217a 現実的な原始惑星の自転特性 柴田 雄 (国立天文台)
11:48	P205a 原始惑星系円盤の成長した磁気乱流によるオーム散逸の増幅 森 昇志 (東京工業大学)	15:36	P218a ホット・ジュピターの暴走的質量損失による短周期系外惑星の欠損 黒川宏之 (名古屋大学)
12:00	P206a 原始惑星系円盤における高空隙率ダストの散乱・吸収断面積 田崎 亮 (京都大学)	15:48	P219a 星震学とロシター効果を用いたスピン軌道傾斜角の3次元的決定 増田賢人 (東京大学)
12:12	P207a 原始惑星系円盤の化学反応とH ₂ Oスノーラインの検出に向けて 野津翔太 (京都大学)	16:00	P220a 高速自転星と超短周期惑星からなる系の角運動量の力学進化 上赤翔也 (東京大学)
12:24	P208a 原始惑星系円盤の内側の穴を形成する新しいメカニズム 竹内 拓 (東京工業大学)	16:12	P221a 多色測光観測によるウォームジュピター WASP-80b の大気調査 福井暁彦 (国立天文台)
12:36	P209b 原始惑星系円盤ガスの局所的な非一様密度構造におけるダスト沈殿の効果 瀧 哲朗 (東京工業大学)	16:24	P222a ガリレオ衛星食を用いた木星大気探査：系外惑星大気のトランジット観測への応用可能性 津村耕司 (東北大学)
12:36	P210b 原始惑星系円盤の化学進化におけるダスト成長の影響 石本大貴 (京都大学)	16:36	P223b Subaru/HiCIAO を用いた近傍 M 型星における巨大ガス惑星探査 1 水木敏幸 (東北大学)
12:36	P211b 微分可能かつ正值な擬密度を用いたSPH法の開発 山本智子 (東京工業大学)	16:36	P224b 恒星フレアが系外惑星大気に及ぼす影響の解析 上原 翔 (首都大学東京)
12:48	P212b 慣性変化法によるマンツルの熱対流シミュレーション 竹山浩介 (東京工業大学)	16:36	P225b 短周期地球型惑星の放射光推定 伊藤祐一 (東京大学)
12:48	P213b 巨大ガス惑星内部の重元素分布と対流様式が熱進化に与える影響について 黒川宏之 (名古屋大学)	16:48	P226b 金星・火星中層大気環境における高エネルギー粒子の降り込みモデルの開発 池田喜則 (大阪府立大学)

Q. 星間現象

9月12日(金) 午前・F会場		9月11日(木) 午前・I会場	
09:30	P227a MOA-IIによる系外惑星探査：2014年の経過報告 越本直季（大阪大学）	11:00	Q01a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡によるG25.0+0.0領域からの広がったガンマ線放射の観測 勝田隼一郎（広島大学）
09:42	P228a 重力マイクロレンズ法による惑星イベント MOA-2012-BLG-505 難波俊太（大阪大学）	11:12	Q02a すざく衛星・Swift衛星を用いたフェルミ・バブルのX線系統探査 田原将也（早稲田大学）
09:54	P229a MOA-2013-BLG-605Lb: 晩期M型矮星に付随する海王星質量惑星 住 貴宏（大阪大学）	11:24	Q03a フェルミバブルからの放射と銀河系ハローの宇宙線 藤田 裕（大阪大学）
10:06	P230a SEEDSによる散開星団での系外惑星探査5：2013年度の進捗報告 須藤 淳（大阪大学）	11:36	Q04a 「チャンドラ」衛星による超新星残骸RCW 86 南西端の再観測 勝田 哲（宇宙航空研究開発機構）
10:18	P231a 視線速度法による高金属量FGK型星周りの系外惑星探索 原川紘季（国立天文台）	11:48	Q05a MAGIC望遠鏡による超新星残骸W44領域の超高エネルギーガンマ線観測 花畑義隆（東京大学）
10:30	P232a 近赤外高分散分光装置IRDで達成できる視線速度精度 平野照幸（東京工業大学）	12:00	Q06a 時間発展を組み込んだ乱流加速によるフェルミバブルからの放射 佐々木健斗（東京大学）
10:42	P233a 位置天文観測衛星により検出可能な惑星の最大公転周期 山口正輝（国立天文台）	12:12	Q07a X線観測で探る超新星残骸衝撃波面での加速電子最高エネルギー決定機構 馬場 彩（青山学院大学）
10:54	P234a 系外惑星の分光直接検出のためのSpectroscopic Coronagraph 河原 創（東京大学）	12:24	Q08a はくちょう座ループ南西部におけるヘリウム様酸素からの強い禁制線の発見 内田裕之（京都大学）
11:06	P235a 星間ダスト上でのアミノ酸生成の理論的研究 木立佳里（筑波大学）	12:36	Q09a すざくによる超新星残骸G290.1-0.8からの過電離プラズマの発見 上司文善（大阪大学）
		12:48	Q10a すざく衛星による超新星残骸Kes 79の観測 佐藤 有（宇宙航空研究開発機構/東京大学）
		13:00	Q11b すざく衛星によるHESS J1507-622のX線観測 松本浩典（名古屋大学）
		13:00	Q12b PICシミュレーションにおける高エネルギー粒子のエネルギーロスII 加藤恒彦（広島大学）

9月11日(木) 午後・I会場		9月12日(金) 午前・I会場	
15:00	Q13a X線輝線と吸収線の同時解析による銀河系内高温星間物質の解析 酒井和広(宇宙航空研究開発機構)	09:30	Q23a Planck衛星によるダストデータと星間ガスの比較解析:高分解能・広範囲の比較 岡本竜治(名古屋大学)
15:12	Q14a マグネターの周りに形成されるパルサー星雲について 田中周太(東京大学)	09:42	Q24a Planck衛星のサーベイデータと星間ガスの比較研究:ペルセウス分子雲 早川貴敬(名古屋大学)
15:24	Q15a 相対論的プラズマシミュレーションにおける数値チェレンコフ不安定の特性と抑制 池谷直樹(千葉大学)	09:54	Q25a CO(J=1-0)広域観測データを用いた3kpc armの詳細解析 白井僚(名古屋大学)
15:36	Q16a 銀河面X線放射における中性鉄輝線放射の非対称性の発見 信川久美子(京都大学)	10:06	Q26a NANTEN2を用いた大質量星形成領域NGC6334およびNGC6357に対するCO分子輝線観測:分子雲衝突による大質量星形成 鳥居和史(名古屋大学)
15:48	Q17a 銀河系中心部の分子ガス幾何構造モデルの再検討 榎谷玲依(名古屋大学)	10:18	Q27a W43における一酸化炭素輝線を用いた観測的研究:分子雲衝突と大質量星形成の関係 切通僚介(大阪府立大学)
16:00	Q18a 銀河系中心20km/s分子雲の深く埋もれた星生成の可能性 坪井昌人(宇宙航空研究開発機構)	10:30	Q28a Mopra望遠鏡によるSpitzer BubbleS145(RCW79)に対するCO輝線詳細観測:分子雲衝突による大質量星形成 長谷川敬亮(名古屋大学)
16:12	Q19a Sgr A領域の衝撃波によるSiO分子の増加 上原顕太(東京大学)	10:42	Q29a 高速度雲衝突が励起するマゼランックストリームにおける大質量星形成 釜谷秀幸(防衛大学校)
16:24	Q20a 野辺山45m望遠鏡による銀河系核周円盤の分子輝線OTFマッピング観測 竹川俊也(慶應義塾大学)	10:54	Q30a NRO銀河面サーベイプロジェクト:2013年度進捗 梅本智文(国立天文台)
16:36	Q21a CLEAN法を用いたN ₂ H ⁺ J=1-0輝線の超微細構造の分離とそれに基づく銀河系中心分子雲の統計的解析(II) 三浦昂大(慶應義塾大学)	11:06	Q31a NRO銀河面サーベイプロジェクト:M17領域 濤崎智佳(上越教育大学)
16:48	Q22a 高速度コンパクト雲CO-0.40-0.22の3mm帯ラインサーベイ観測およびOTFマッピング観測 岡朋治(慶應義塾大学)	11:18	Q32b NRO銀河面サーベイプロジェクト:データ解析と評価(1) 西村淳(国立天文台)
		11:18	Q33b 1.85m電波望遠鏡によるζ ophに付随する分子雲の観測的研究 松本貴雄(大阪府立大学)
		11:18	Q34b Mopraを用いた大小マゼラン銀河における孤立した大質量原始星に付随する分子ガス観測 原田遼平(大阪府立大学)

9月12日(金) 午後・I会場		
13:30	Q35a スーパージャイアントシェル LMC 4 と LMC 5 の相互作用領域における HI 21cm 輝線観測 藤井浩介 (東京大学)	15:18 Q46b グリシン前駆体検出天体における有機分子の多様性とその特徴 鈴木大輝 (総合研究大学院大学)
13:42	Q36a 超新星残骸 IC443 の $^{12,13}\text{CO}(J=1-0, 2-1)$ 輝線観測 吉池智史 (名古屋大学)	15:30 Q47b OH 分子の超微細構造遷移線における Line Overlap を含めた統計平衡計算 海老澤勇治 (東京大学)
13:54	Q37a 超新星残骸 RCW 86 における星間ガスと X 線放射 佐野栄俊 (名古屋大学)	15:30 Q48b SPLASH による OH メーザー源探査の初期成果 今井 裕 (鹿児島大学)
14:06	Q38a CH_2NH -rich 天体におけるグリシン前駆体 CH_3NH_2 の検出 大石雅寿 (国立天文台)	Q49c Processing of ice mantles in a massive star-forming region 下西 隆 (神戸大学)
14:18	Q39a 宇宙線パーカー不安定性により生じる銀河円盤の圧力と密度の鉛直分布 工藤哲洋 (国立天文台)	
14:30	Q40a An AKARI PAH-range Analysis of Candidate Electric Dipole Emitting Regions Aaron C. Bell (University of Tokyo)	
14:42	Q41a 実験室および ISS 軌道上実験に基づく未同定赤外バンドの担い手の理解 左近 樹 (東京大学)	
14:54	Q42a プラズマ照射実験で探る炭素質ダストの合成とその赤外特性調査 佐藤一輝 (東京大学)	
15:06	Q43a Variations of the 3.3 μm feature within specific galactic objects Mark Hammonds (University of Tokyo)	
15:18	Q44b 「あかり」赤外線全天サーベイデータを用いた分子雲衝突が示唆される大質量星形成領域の研究 服部和生 (名古屋大学)	
15:18	Q45b Mopra 望遠鏡を用いた大質量星団 [DBS2003]179 に対する複数 CO 同位体輝線観測: 分子雲衝突による大質量星形成 桑原 翔 (東京大学)	

R. 銀河

9月11日(木) 午前・H会場			
11:00	R01a Particle-Particle Particle-Tree(P ³ T)法のGPUへの実装及び高密度星団系への応用 岩澤全規 (理化学研究所)	12:48	R13a ALMAでのNGC1068中心部の分子の観測: CO同位体分子の存在比の空間分布 谷口暁星 (東京大学)
11:12	R02a 10億体を用いた銀河円盤のN体シミュレーション 藤井通子 (国立天文台)	13:00	R14a スターバースト銀河 M82 のスーパーウインドの偏光分光観測によるダストフローの研究 II. 吉田道利 (広島大学)
11:24	R03a 銀河形成シミュレーションでみるbarの形成と進化 岡本 崇 (北海道大学)	13:12	R15b Starburst feedback and the superwind in M82: high-resolution observations of molecular gas with CARMA and Nobeyama 45-m telescopes Dragan Salak (University of Tsukuba)
11:36	R04a 棒状銀河の渦状腕のダイナミクス 馬場淳一 (東京工業大学)	13:12	R16b 棒渦巻銀河内の分子ガス輝線の光学的厚み 諸隈佳菜 (国立天文台)
11:48	R05a 銀河衝撃波の安定性: 体積粘性の効果 花輪知幸 (千葉大学)		
12:00	R06a 銀河のファラデー分散関数を用いた銀河三次元構造の解明 出口真輔 (熊本大学)		
12:12	R07b 銀河ダイナモの大局的シミュレーションと観測との比較 工藤祐己 (千葉大学)	9月11日(木) 午後・H会場	
	R08c 近傍渦巻き銀河における磁場構造の分類分け 安楽健太 (鹿児島大学)	15:00	R17a Spatially resolved physical conditions of molecular gas and potential star formation tracers in M83, revealed by the Herschel SPIRE FTS Ronin Wu (The University of Tokyo)
12:12	R09b 近赤外データを用いた近傍渦巻銀河の密度波仮説の検証 橋場康人 (東京大学)	15:12	R18a 「あかり」による近傍銀河に存在する星間氷の観測: CO ₂ /H ₂ O 比の変化 山岸光義 (名古屋大学)
12:12	R10b ASTEによる渦巻銀河 NGC 628 のCO(J=3-2)輝線広域観測 村岡和幸 (大阪府立大学)	15:24	R19a 「あかり」IRC撮像データによる近傍渦巻銀河の星間ダスト研究 江草美実 (宇宙航空研究開発機構)
12:24	R11a M51の渦状腕における70GHz帯の輝線観測 西村優里 (東京大学)	15:36	R20a 近傍高光度赤外線銀河の一酸化炭素輝線サーベイ観測 山下拓時 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
12:36	R12a NGC3627の ¹² COと ¹³ CO輝線のスタッキング解析: 光学的に厚くない ¹² CO成分存在の可能性 諸隈佳菜 (国立天文台)	15:48	R21a Development of the Multi-parameter Star Formation Law Shinya Komugi (NAOJ Chile Observatory)
		16:00	R22a 衝突末期段階の銀河における分子ガスの観測的研究 植田準子 (国立天文台)

16:12	R23a 「あかり」で見つかった(U)LIRGsの諸性質 小山舜平(東京工業大学/宇宙航空研究開発機構)	9月12日(金) 午前・H会場	
16:24	R24a Subaru/Hyper Suprime-Camで探るNGC4631相互作用銀河群の構造I 田中幹人(東北大学)	09:30	R32a VERAによるSgr D領域に付随する水メーザーの絶対固有運動測定 酒井大裕(東京大学)
16:36	R25b 「あかり」近赤外線分光観測で探る超高光度赤外線銀河の星形成活動 矢野健一(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	09:42	R33a 星数密度分布から探る銀河系中心の広がったX線の放射源 長友 竣(京都大学)
	R26c 遠赤外線連続波の主成分分析による銀河の活動の分類 公地千尋(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	09:54	R34a 銀河系ハローと厚い円盤におけるM型星欠乏 小西美穂子(大阪大学)
16:36	R27b ALMAで探る銀河衝突による活発な星形成活動 金子紘之(筑波大学)	10:06	R35a 「すざく」衛星によって観測された渦巻銀河M31中心部の重元素組成比 長谷川俊介(東京理科大学)
16:36	R28b Extremely gas-rich矮小銀河におけるHII領域の分布:(1)DDO154 高橋晴香(東京大学)	10:18	R36a 銀河の化学力学進化モデルから探るrプロセス起源天体 平居 悠(東京大学)
16:48	R29b NGC4388周辺の動圧はぎ取りによる広がったX線放射 菱 右京(金沢大学)	10:30	R37a 三次元非一様化学進化モデルを用いた軽い中性子捕獲元素の起源の研究 荒尾幸絵(国際基督教大学)
16:48	R30b 高感度ALMA観測で探る暗いSMGの統計的性質 藤本征史(東京大学)	10:42	R38a 化学進化からみる矮小銀河の形態と進化過程の違い 深川奈桜(国際基督教大学)
16:48	R31b ダークマターハローと中心ブラックホールの重力場におけるポリティロピック球対称定常銀河風の遷音速解析 五十嵐朱夏(筑波大学)	10:54	R39a 星生成史に従ってモデル計算した矮小楕円体銀河の化学進化 本間英智(東北大学)
		11:06	R40a SSA22領域におけるLy α 輝線のEWが大きいLAEs 大塚拓也(東北大学)
		11:18	R41a 赤方偏移4の星形成銀河のスペクトルスロープ β と空間相関 山中郷史(東北大学)
			R42c Scientific Prospects and photo-z simulation of the SWIMS-18 survey 山元萌黄(総合研究大学院大学)

S. 活動銀河核

9月12日(金) 午後・H会場		9月13日(土) 午前・H会場	
13:30	S01a ALMAで探る活動銀河核コロナ加熱機構 井上芳幸(宇宙航空研究開発機構)	15:06	S14b 狭輝線1型セイファート銀河 PG1244+026のX線時間変動解析 桑原啓介(首都大学東京)
13:42	S02a Ultra Fast Outflowのラインフォース駆動型円盤風モデルI: 流体シミュレーション 野村真理子(国立天文台)	15:06	S15b すざく衛星によるradio-loudな狭輝線セイファート1型銀河1H0323+342のX線観測 白川裕章(広島大学)
13:54	S03a Ultra Fast Outflowのラインフォース駆動型円盤風モデルII: スペクトル合成 吉田鉄生(国立天文台)	15:06	S16b ブレーザーの光度変動と降着円盤の関係性の調査 笹田真人(京都大学)
14:06	S04a 相対論的アウトフローの放射流体モデルII 中田めぐみ(日本大学)	15:18	S17b ブレーザーOJ287のガンマ線増光と新ジェット成分生成の関係 澤田・佐藤聡子(国立天文台)
14:18	S05a ボルツマン方程式による一般相対論的輻射輸送シミュレーション 高橋芳太(苫小牧工業高等専門学校)	15:18	S18b ALMAによるkpcジェットからのミリ波サブミリ波放射の検出 永井洋(国立天文台)
14:30	S06a 降着流中での乱流加速と宇宙線陽子・ニュートリノ生成 木村成生(大阪大学)	15:18	S19b 電子・陽電子対プラズマの相対論的アウトフロー(放射流体モデル) 岩本弘一(日本大学)
14:42	S07b 「あかり」赤外線全天サーベイカタログとMAXI全天X線カタログを用いた近傍活動銀河核の調査 磯部直樹(宇宙航空研究開発機構)		
14:42	S08b 母銀河からの赤外線放射の影響を考慮した活動銀河核ダストーラスの赤方偏移依存性の検証 鳥羽儀樹(愛媛大学)	09:30	S20a Ultra-high-frequency-peaked BL Lac objectの超高エネルギー陽子起源放射モデル 井上進(Max-Planck-Institut für Physik, 東京大学宇宙線研究所)
14:42	S09b 高赤方偏移クェーサー光度関数の正確な測定に向けたBOSSクェーサーズスペクトルの光度依存性の調査 仁井田真奈(愛媛大学)	09:42	S21a M87ジェット最深部のサブミリ波放射領域における磁場強度 紀基樹(KASI)
	S10c MAXIによるセイファート銀河X線時間変動のパワースペクトル推定 上野史郎(宇宙航空研究開発機構)	09:54	S22a GeVガンマ線短時間変動に基づくブレーザージェットの放射機構の探査 斉藤新也(宇宙航空研究開発機構)
14:54	S11b 「すざく」で観測されたPGクェーサーX線スペクトルの主成分分析 鮫島寛明(宇宙航空研究開発機構)	10:06	S23a かなた望遠鏡による活動銀河核の可視光・X線・ガンマ線での相関の探査 河口賢至(広島大学)
14:54	S12b MAXIによるセイファート銀河のX線食現象の探査 杉本樹梨(理化学研究所/立教大学)	10:18	S24a GENJIプログラム: VLBIモニター観測による電波銀河3C84のsub-pcスケールジェットの運動 日浦皓一郎(北海道大学)
14:54	S13b No Microwave Flare of Sgr A* around the G2 Periastron Passing Masato Tsuboi(宇宙航空研究開発機構)	10:30	S25a Suzaku By-Week Monitoring of the Galactic Center Sgr A* in X-rays (II) 前田良知(宇宙航空研究開発機構)

T. 銀河団

10:42	S26a	すざく衛星による活動銀河核の硬 X 線軟ガンマ線スペクトルの時間変動 深沢泰司 (広島大学)	9月11日(木) 午前・A会場	
10:54	S27a	すざく衛星による Centaurus A Northern Lobe の X 線観測 田中康之 (広島大学)	11:00	T01a 種族合成モデルを用いた銀河団同定法の開発 大栗真宗 (東京大学)
11:06	S28a	相対論的ジェットに付随するコクーンの内部構造 水田 晃 (理化学研究所)	11:12	T02a 「すざく」による近傍 Fossil システム候補天体の系統的観測 佐藤真柚 (首都大学東京)
9月13日(土) 午後・H会場			11:24	T03a 弾丸銀河団における銀河団ガスの熱的進化 永吉賢一郎 (宇宙航空研究開発機構)
13:30	S29a	セイファート NGC 3227 が示す巨大ブラックホールへの降着流の状態遷移 野田博文 (理化学研究所)	11:36	T04a X 線鉄輝線共鳴散乱を用いた銀河団内高温プラズマでの乱流の大きさの制限 枝廣育実 (広島大学)
13:42	S30a	キューサー紫外 - 可視域スペクトル変動データから得られる Inhomogeneous Accretion Disk Model への制限 小久保充 (東京大学)	11:48	T05a すざく衛星による低表面輝度銀河団 A1631 のエントロピー分布の研究 新郷沙耶 (奈良女子大学)
13:54	S31a	部分吸収モデルを用いた狭輝線 1 型セイファート銀河の X 線解析 山崎廣樹 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	12:00	T06a 銀河団外縁部のエントロピー異常の原因の検証 栗山 翼 (東京理科大学)
14:06	S32a	反射成分が卓越した活動銀河核 NGC6552 の「すざく」による観測 河野貴文 (広島大学)	12:12	T07a かみのけ座銀河団に見つかったサブハローの「すざく」による観測 佐々木 亨 (東京理科大学)
14:18	S33a	フレームワーク MONACO を用いた活動銀河核トラスの X 線スペクトルシミュレーション 古井俊也 (広島大学)	12:24	T08a $0.16 < z < 0.33$ における銀河団内の Luminous Red Galaxy の分布 星野華子 (名古屋大学)
14:30	S34a	活動的銀河における高励起分子ガスと高温ダストとの分布の違い 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)	12:36	T09a ペルセウス銀河団からの暗黒物質 X 線の探査 田村隆幸 (宇宙航空研究開発機構)
14:42	S35a	高赤方偏移キューサーのダストトラス進化 大藪進喜 (名古屋大学)	12:48	T10b 銀河団の高エネルギー分光観測における重力赤方偏移の影響 北本俊二 (立教大学)
14:54	S36a	ダスト減光効果を考慮した準解析的モデルによるキューサー光度関数の研究 白方 光 (北海道大学)	12:48	T11b 「すざく」による Zone of Avoidance 領域銀河団の X 線撮像分光観測 森 英之 (名古屋大学)
15:06	S37a	ダストに隠された活動銀河核に適用可能なブラックホール質量測定法 峰崎岳夫 (東京大学)	12:48	T12b すざく衛星を用いた銀河団プラズマ中の電離非平衡状態の系統的探査 井上翔太 (大阪大学)

U. 宇宙論

9月11日(木) 午後・A会場		9月12日(金) 午後・F会場	
15:00	T13a 衝突銀河団 Abell 2256 の JVLA 偏波観測結果 小澤武揚 (鹿児島大学)	13:30	U01a 一般相対論的な三体問題に対する三角解の線形安定性 山田慧生 (弘前大学)
15:12	T14a 銀河団に付随する電波放射領域(電波レリック)のX線観測の現状 赤松弘規 (SRON Netherlands Institute for Space Research)	13:42	U02a 宇宙論的な位相欠陥に起因する初期磁場 堀口晃一郎 (名古屋大学)
15:24	T15a 電波レリックを持つ銀河団 1RXS J0603.3+4214 の衝撃波候補領域の解析 板花まどか (山形大学)	13:54	U03a 宇宙ガンマ線背景放射にみる CP 対称性の破れの兆候 田代寛之 (名古屋大学)
15:36	T16a 「すざく」による衝突銀河団 Abell 548W の観測 中澤知洋 (東京大学)	14:06	U04a 宇宙背景放射と背景原初磁場 - 原初磁場効果の修正 - 山崎 大 (国立天文台)
15:48	T17a X線天文衛星すざくを用いた衝突銀河群探査 三石郁之 (名古屋大学)	14:18	U05a 磁場と重力波観測の将来観測からの電子と陽子の電荷の非対称性への制限 青山尚平 (名古屋大学)
16:00	T18a 衝突初期の銀河団 CIZA J1358-4750 における衝撃波の観測的研究 加藤佑一 (東京大学)	14:30	U06a 宇宙マイクロ波背景放射偏光観測実験 POLARBEAR による B-mode 偏光観測と解析の現状 茅根裕司 (高エネルギー加速器研究機構)
		14:42	U07a CMB 偏光地図のパッチワークを使った重力レンズ再構築 永田 竜 (高エネルギー加速器研究機構)
		14:54	U08a 宇宙膨張論の検証XXIII 空間膨張宇宙ならば(4) 距離が三種類ある 阿武靖彦
		15:06	U09a 宇宙の素粒子の必要条件を満たす「超微粒子論」 小堀しづ
		15:18	U10b Lagrange 的摂動論の5次摂動方程式導出と fitting formula の構築 立川崇之 (福井大学)
		15:18	U11b ビッグバンの点と宇宙の中心のブラックホールの点と地球の点 小堀しづ
			U12c 宇宙の泡構造とフィラメント構造 小堀しづ

9月13日(土) 午前・F会場			
09:30	U13a 21cm 線輝度温度場のバイスペクトルの評価 島袋隼士 (名古屋大学)	11:54	U25a 近接クエーサー対の環境について 加用一者 (東京工科大学)
09:42	U14a 再電離期 21cm 線 bispectrum の観測について 吉浦伸太郎 (熊本大学)		U26c 近傍宇宙の銀河計数にもとづく密度パラメータの制限 藤井宏和 (東京大学)
09:54	U15a 修正重力理論における宇宙論的パワースペクトルおよび2点相関関数 樽家篤史 (京都大学)		U27c GRAMORs を用いた宇宙論パラメータの制限 森岡真代 (東北大学)
10:06	U16a 赤方偏移空間におけるダークマターの非線形性成長へのラグランジアン摂動論の適用 杉山尚徳 (東京大学)		U28c Logicalization of Quantum Probabilities on Quantization Topology 中山薫二 (龍谷大学)
10:18	U17a 3.5 keV X 線輝線と Mixed Dark Matter モデルでの Substructure 問題 原田 了 (東京大学)		
10:30	U18a 弱重力レンズによるフィラメントの統計的性質 樋口祐一 (国立天文台)		
10:42	U19a ガンマ線背景放射と弱重力レンズの相関解析による暗黒物質対消滅の制限 白崎正人 (東京大学)		
10:54	U20a 重力レンズ効果に対するバリオンの影響 大里 健 (東京大学)		
11:06	U21a FastSound 計画 : サーベイ進展状況の報告 舎川元成 (東京大学)		
11:18	U22a FastSound 計画 : 検出された輝線銀河の性質 岡田裕行 (東京大学)		
11:30	U23a 銀河分布の赤方偏移変形を用いた宇宙大構造の成長率と銀河速度分散の制限 日影千秋 (名古屋大学)		
11:42	U24a 赤方偏移変形の色依存性から探る銀河とサブハローの対応関係 山本幹人 (名古屋大学)		

V1. 地上観測機器

9月12日(金) 午後・B会場	
13:30	V101a 南極 10 m テラヘルツ望遠鏡制御系の基本設計 永井 誠 (筑波大学)
13:42	V102a つくば市の冬季における 220 GHz 帯大気透過率の測定 長崎岳人 (筑波大学)
13:54	V103a 南極 30m テラヘルツ望遠鏡計画1 中井直正 (筑波大学)
14:06	V104b 南極ドームふじ基地の大気透過率の日変化 瀬田益道 (筑波大学)
14:06	V105b 100 GHz 帯直列接合型 SIS 素子の開発: CPW 伸長の効果の検討 中島 拓 (名古屋大学)
14:06	V106b 200 GHz 帯直列接合型 SIS 素子の開発: 直列接合伝送線路の設計 加藤智隼 (名古屋大学)
14:18	V107a 野辺山 45m 鏡搭載 新マルチビーム受信機「FOREST」の開発進捗8 南谷哲宏 (国立天文台)
14:30	V108b 「FOREST」搭載 IF 広帯域化 100 GHz 帯 SIS ミクサの開発 上月雄人 (大阪府立大学)
14:30	V109b 70GHz 帯 SIS 素子の開発 池谷瑞基 (電気通信大学)
14:30	V110b 強度干渉計実験の量子光学的考察 松尾 宏 (国立天文台)
14:42	V111b トンネル接合型サブミリ波カメラの開発 河西美穂 (東邦大学)
14:42	V112b サブミリ波観測装置のための 0.8K 冷凍器の開発 久保大樹 (東邦大学)
14:42	V113b GLT 搭載用 230GHz 帯両円偏波・両サイドバンド分離受信機の開発 長谷川 豊 (大阪府立大学)
14:54	V114b POLARBEAR-2 実験に用いる極低温光学チェンバーの冷却試験と性能評価 瀬川優子 (総合研究大学院大学)
14:54	V115b POLARBEAR-2 におけるミリ波吸収体の開発 井上優貴 (総合研究大学院大学)
14:54	V116b 那須電波観測所における GPU デジタル分光器の開発 青木貴弘 (早稲田大学)
	V117c 1.4GHz 帯における赤緯 32.0°-41.5° の掃天観測 貴田寿美子 (早稲田大学)
15:06	V118b 水沢 10m 電波望遠鏡のシステム向上について 亀谷 収 (国立天文台)
15:06	V119b VERA 搭載用 86 GHz 帯セプタム型円偏波ポーラライザーの開発 Soon Kang Lou (茨城大学)
15:06	V120b 1.85m 電波望遠鏡プロジェクトの開発進捗 (VIII) 徳田一起 (大阪府立大学)
15:18	V121b ミリ波/サブミリ波帯用広帯域コルゲートホーン的设计 杉本正宏 (国立天文台)
15:18	V122b ALMA 帯域通過特性の性能評価 亀野誠二 (Joint ALMA Observatory)
15:18	V123b 野辺山 45m 望遠鏡ビーム伝送系改修 (1) 浅山信一郎 (国立天文台)

9月13日(土) 午前・B会場	9月13日(土) 午後・B会場
09:30 V124a ALMA の建設(21)と運用(5) 井口 聖 (国立天文台)	13:30 V134a ASTE 搭載用多色連続波カメラの開発 (1) 大島 泰 (国立天文台)
09:42 V125a アストロホログラフィー測定による ALMA アンテナの重力変形評価 杉本正宏 (国立天文台)	13:42 V135a ASTE 搭載用多色連続波カメラの開発 (2) : 光学系評価 竹腰達哉 (国立天文台)
09:54 V126a ALMA 偏波観測機能の科学評価活動 報告(5-1) 中西康一郎 (国立天文台)	13:54 V136a ASTE 搭載用多色連続波カメラの開発 (3) : ノイズ評価とフィルタリング 荒井 均 (国立天文台)
10:06 V127a ALMA 偏波観測機能の科学評価活 動報告(5-2) : 3C286 の Science Verification 観測 永井 洋 (国立天文台)	14:06 V137a 野辺山 45m 電波望遠鏡搭載に向けた 220-GHz 帯超伝導カメラの開発 新田冬夢 (国立天文台)
10:18 V128a ALMA Pipeline - Current Status Hiroko Shinnaga (NAOJ Chile Observatory, East Asian ALMA Regional Center (EA ARC))	14:18 V138a 野辺山 45m 鏡における 40 GHz 帯偏 波計測システム 水野いづみ (鹿児島大学 / 国立天 文台)
10:30 V129a テラヘルツ低雑音受信機開発に向け た初期検討 Alvaro Gonzalez (国立天文台)	14:30 V139a 野辺山 40 GHz 帯偏波システムによる ゼーマン効果計測性能評価 亀野誠二 (Joint ALMA Observatory)
10:42 V130a ALMA 観測サイトにおけるキャリブレ ーション用信号源 その5 木内 等 (国立天文台)	14:42 V140a 広帯域フィードの開発(VII) 氏原秀樹 (情報通信研究機構)
10:54 V131a JVO による ALMA データ配信サービス 川崎 渉 (国立天文台)	14:54 V141a 野辺山電波ヘリオグラフによる強度干 渉計実験 江澤 元 (国立天文台)
11:06 V132a NANTEN2 望遠鏡における NASCO マ ルチビーム受信機の開発 伊藤万記生 (名古屋大学)	
11:18 V133a 「きゃらばん・サブミリ計画」現状報告 (2014年秋) 三好 真 (国立天文台)	

V2. 地上観測機器

9月11日(木) 午前・B会場		9月11日(木) 午後・B会場	
11:00	V201a 都心から探る星のフレア～中央大学後楽園キャンパスに設置した小型望遠鏡 CAT ～ 坪井陽子 (中央大学)	12:36	V213a 小型屈折光学系補償光学装置 (CRAO) - 1.3m 荒木望遠鏡におけるファーストライト 北尾栄司 (京都産業大学)
11:12	V202b 埼玉大学 55cm 望遠鏡観測システムの自動化と性能評価試験 石橋遥子 (埼玉大学)	12:48	V214b 小型屈折光学系補償光学装置 (CRAO) - 両面電極メンブレン型 SATURN DM を用いたループ制御システムの開発 清水 智 (京都産業大学/西村製作所)
	V203c 小口径望遠鏡用分光器 LISA の性能評価 田邊健茲 (岡山理科大学)		
	V204c ニュージーランド・マウントジョン天文台 61cm B&C 望遠鏡の改良 阿部文雄 (名古屋大学)	15:00	V215a 地球型惑星検出のためのすばる赤外線ドップラー分光器 IRD の開発 : 8 小谷隆行 (国立天文台)
11:12	V205b チベットロボット三色撮像カメラ (HinOTORI) : 仕様評価 内海洋輔 (広島大学)	15:12	V216a WINERED による高分散天文学 小林尚人 (東京大学)
11:12	V206b 東京大学木曾観測所 105cm シュミット望遠鏡のリモート観測・自動観測システムの構築 前原裕之 (東京大学)	15:24	V217a 近赤外高分散分光器 WINERED : 「非冷却光学系」の実現 近藤荘平 (京都産業大学)
11:24	V207a TMT 国際天文台設立-計画状況 家 正則 (国立天文台)	15:36	V218a 岡山天体物理観測所 188cm 望遠鏡の新しい多色撮像カメラ MuSCAT の開発 成田憲保 (国立天文台)
11:36	V208a TMT 第一期観測装置 IRIS 撮像系の開発- IRIS 広視野化 鈴木竜二 (国立天文台)	15:48	V219a 木曾観測所超広視野 CMOS カメラの開発計画 酒向重行 (東京大学)
11:48	V209a SuMIRe-PFS プロジェクトの概要と進捗状況 2014 田村直之 (東京大学)	16:00	V220b 木曾超広視野 CMOS カメラのデータ取得部のシステム設計 菊池勇輝 (東京大学)
12:00	V210a RAVEN 試験観測報告 大屋 真 (国立天文台)	16:00	V221b KWFC 銀河面変光天体探査 (KISOGP) のデータを用いた突発天体サーベイ 前原裕之 (東京大学)
12:12	V211a RAVEN の波面センサーを用いた大気揺らぎプロファイルの測定 大野良人 (東北大学)	16:00	V222b 可視赤外線同時カメラ HONIR: 近赤外線検出器読み出しシステムの開発と評価 宇井崇紘 (広島大学)
12:24	V212a 極限補償光学装置のための位相振幅同時計測方式波面センサの開発 山本広大 (京都大学)	16:12	V223a 可視赤外線同時カメラ HONIR: 直線偏光観測機能の導入と性能評価 秋田谷洋 (広島大学)

16:24	V224a 近赤外線で明るい天体を観測するための部分減光フィルタの開発 永山貴宏（鹿児島大学）	10:30	V236b 太陽可視観測用補償光学装置，光学ベンチの設計・製作 3 仲谷善一（京都大学）
16:36	V225a 天文観測用画像センサー読み出し IC の試作 中屋秀彦（国立天文台）	10:30	V237b 太陽多層共役補償光学系の開発と上空波面センサの評価 三浦則明（北見工業大学）
16:48	V226b 近赤外多天体分光カメラ SWIMS 検出器読み出しシステムの開発 藤堂颯哉（東京大学）	10:42	V238a 太陽補償光学系の開発と補償効果のシミュレーション 三浦則明（北見工業大学）
16:48	V227b すばる望遠鏡近赤外線撮像分光観測装置 IRCS 用偏光観測モードの開発 渡辺 誠（北海道大学）		V239c 飛騨天文台 SMART の制御系の改修 永田伸一（京都大学）
16:48	V228b 次世代中間赤外観測装置用イメージスライサーの開発 左近 樹（東京大学）	10:54	V240a 狭帯域チューナブルフィルター構造設計 木村剛一（京都大学）
9月12日（金）午前・B会場		11:06	V241b 赤外マグネトグラフに実装した高速回転波長板偏光変調装置 花岡庸一郎（国立天文台）
09:30	V229a Search of gravitational waves with the KAGRA detector Raffaele Flaminio（National Astronomical Observatory of Japan）	11:06	V242b 太陽フレア望遠鏡赤外ポラリメータ搭載 InGaAs 近赤外カメラ特性調査 森田 諭（国立天文台）
09:42	V230a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の補助光学系の開発 IV 阿久津智忠（国立天文台）		
	V231c 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の安全管理 II 大石奈緒子（東京大学/国立天文台）		
09:54	V232a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画：全体報告（7） 窪 秀利（京都大学）		
10:06	V233a CTA 大口径望遠鏡用光電子増倍管の較正試験状況 永吉 勤（埼玉大学）		
10:18	V234a CTA 大口径望遠鏡読み出し回路の開発及びシミュレーションによる性能評価 増田 周（京都大学）		
10:30	V235b CTA 大口径望遠鏡用カメラの性能評価と高速パルサー開発 猪目祐介（甲南大学）		

W1. 飛翔体観測機器

9月11日(木) 午後・J会場	
16:36	W101b 皮膚に網をかぶせた長時間飛翔用スーパープレッシャー気球の開発 斎藤芳隆(宇宙航空研究開発機構)
16:36	W102b すぐく衛星搭載 CCD カメラ XIS 検出器のコンタミネーションによる影響の較正 和田師也(東京大学/宇宙航空研究開発機構)
16:36	W103b 国際宇宙ステーション搭載全天 X 線監視装置 CCD カメラ(SSC)の状況 富田 洋(宇宙航空研究開発機構)
16:48	W104bX 線望遠鏡用 CFRP 基板のプリントスルーの抑制法の研究 吉岡賢哉(愛媛大学)
16:48	W105b 次世代 X 線望遠鏡のための CFRP ミラーファイルの開発 III 杉田聡司(愛媛大学)
16:48	W106bX 線干渉計で使う反射鏡と半透膜の特性評価 III 小川修三(立教大学)
9月12日(金) 午前・J会場	
09:30	W107a ASTRO-H 搭載軟 X 線望遠鏡の望遠鏡特性の評価(2) 佐藤寿紀(首都大学東京)
09:42	W108a ASTRO-H 搭載軟 X 線望遠鏡(SXT)の迷光測定 菊地直道(首都大学東京)
09:54	W109a ASTRO-H 搭載軟 X 線撮像検出器 SXI の開発の現状 平賀純子(東京大学)
10:06	W110a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の開発の現状 XII 山崎典子(宇宙航空研究開発機構)
10:18	W111b 大型放射光施設 SPring-8 を用いた Astro-H SXT 用 X 線反射鏡の測定 飯塚 亮(宇宙航空研究開発機構)
10:18	W112b ASTRO-H 衛星搭載 X 線 CCD (SXI) の Si-K edge 前後のレスポンスの測定 幸村孝由(東京理科大学)
10:18	W113b ASTRO-H 搭載軟 X 線 CCD カメラの応答関数の作成 片多修平(大阪大学)
10:30	W114b メッシュを利用した CCD 素子間ギャップ幅の測定 薙野 綾(大阪大学)
10:30	W115b 小型かつ変調型の X 線発生装置 Modulated X-ray Source(MXS)の製作と性能評価 岩切 渉(理化学研究所)
10:30	W116b 結晶反射鏡のモザイク化による積分反射率の向上 泉谷喬則(中央大学)
10:42	W117a ダークバリオン探査ミッション DIOS 開発の進展状況 大橋隆哉(首都大学東京)
10:54	W118a DIOS 搭載 4 回反射型 X 線望遠鏡 FXT の大口径反射鏡開発 馬場崎康敬(名古屋大学)
11:06	W119b DIOS 衛星搭載 4 回反射型 X 線望遠鏡における鏡面物質の設計 中道 蓮(名古屋大学)
11:06	W120b DIOS 衛星搭載を目指した TES 型 X 線マイクロカロリメータの開発 山口静哉(首都大学東京)
11:06	W121b 断熱消磁冷凍機を用いた X 線マイクロカロリメータ動作環境の構築(5) 高倉奏喜(金沢大学)
11:18	W122b 次世代衛星搭載 CCD 高速低雑音処理 ASIC の性能 井上翔太(大阪大学)
11:18	W123b FFAST 衛星搭載硬 X 線検出器の宇宙放射線環境シミュレータ開発 吉田浩晃(大阪大学)
	W124c 小型衛星搭載用・ガンマ線バーストの硬 X 線偏光度検出器の開発 - シミュレーションによる性能評価 片桐 惇(山形大学)

9月12日(金) 午後・J会場	9月13日(土) 午前・J会場
13:30 W125a TES 型 X 線マイクロカロリメータアレイ読み出しのためのバイアス電流共通型 SQUID の開発 千葉 旭 (宇宙航空研究開発機構)	09:30 W135a PoGOLite 気球実験:2013年のパスファインダーフライト(2) 高橋弘充 (広島大学)
13:42 W126a TES カロリメータアレイの周波数分割読み出しの開発状況 山本 亮 (宇宙航空研究開発機構)	09:42 W136a X 線ガンマ線偏光観測小型衛星 PolariS : 開発の現状 2014 林田 清 (大阪大学)
13:54 W127a TES 型 X 線マイクロカロリメータアレイの実装技術の開発 林 佑 (宇宙航空研究開発機構)	09:54 W137a 光電子追跡型 X 線偏光計の製作および基礎性能評価 武内陽子 (理化学研究所 / 東京理科大学)
14:06 W128a 次世代 X 線観測衛星搭載に向けた誘電体 X 線マイクロカロリメータの開発 菊地貴大 (宇宙航空研究開発機構)	10:06 W138a MPPC とプラスチックシンチレータの組み合わせを用いた天体偏光 X 線検出器の検討 中岡竜也 (広島大学)
14:18 W129a 炭素繊維強化プラスチックを用いた次世代 X 線望遠鏡開発の現状 岩瀬敏博 (名古屋大学)	10:18 W139a 超小型衛星 TSUBAME のソフトウェア開発と統合試験 栗田 真 (東京工業大学)
14:30 W130a 将来スペース太陽観測に向けた超高精度 Wolter ミラーの開発 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)	10:30 W140a 小型衛星搭載用・ガンマ線バーストの硬 X 線偏光度検出器の開発 中森健之 (山形大学)
14:42 W131a 鉄 K α 線付近のエネルギー帯における大有効面積 X 線望遠鏡の開発 立花 献 (名古屋大学)	10:42 W141a 広視野低雑音 MeV ガンマ線コンプトンカメラを用いた SMILE-II システムの改良 水村好貴 (京都大学)
14:54 W132a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 10: 開発の現状 鶴 剛 (京都大学)	10:54 W142a 超小型衛星を用いた天文観測の提案とその初号機 ORBIS の開発状況 佐久間岳志 (首都大学東京)
15:06 W133a ガンマ線バーストを用いた初期宇宙探査計画 HiZ-GUNDAM の進捗(3) 澤野達哉 (金沢大学)	11:06 W143a 地球磁気圏 X 線可視化計画の検討現状 江副祐一郎 (首都大学東京)
15:18 W134a 小型科学衛星 HiZ-GUNDAM 搭載を 目指した X 線撮像検出器の開発 吉田和輝 (金沢大学)	11:18 W144a ISS 軌道上における MAXI のバックグラウンド 中平聡志 (宇宙航空研究開発機構)

W2. 飛翔体観測機器

9月11日(木) 午前・J会場		
12:00	W201b 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状(4) 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)	15:36 W212b 小型 JASMINE ミッション部の姿勢と熱の検討 矢野太平(国立天文台)
12:00	W202b 「あかり」中間赤外線全天サーベイマップからの暗い天体の検出方法の確立 中道恵一郎(名古屋大学)	15:36 W213b 小型 JASMINE 光学系の変形解析と測定 鹿島伸悟(国立天文台)
12:12	W203a 「あかり」近赤外グリズム分光観測の二次光を考慮したフラックス較正 馬場俊介(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	15:36 W214b 超小型赤外線位置天文衛星 Nano-JASMINE の星像実験による星像解析 原拓自(東京大学)
12:24	W204a 次世代赤外線天文衛星 SPICA : 現状報告 芝井 広(大阪大学)	W215c Nano-JASMINE: 完全空乏型 CCD のピクセル応答関数の測定 小林行泰(国立天文台)
12:36	W205a SPICA 搭載 中間赤外線観測装置の仕様の再検討状況 金田英宏(名古屋大学)	W216c 小型 JASMINE で拓くバルジサイエンス 辻本拓司(国立天文台)
12:48	W206a 宇宙赤外線背景放射の観測用ロケット実験 CIBER-2 白旗麻衣(国立天文台)	15:48 W217a Nano-JASMINE データ解析の準備状況 山田良透(京都大学)
		16:00 W218a 科学衛星を用いた宇宙背景放射偏光精密測定計画 LiteBIRD の概要 石野宏和(岡山大学)
		16:12 W219a ミリ波/サブミリ波帯用広帯域コルゲートホーンの評価 関口繁之(東京大学)
9月11日(木) 午後・J会場		
15:00	W207b 気球搭載型遠赤外線干渉計 FITE : 結像光学系の要求性能評価と公差解析 伊藤哲司(大阪大学)	16:24 W220b LiteBIRD 衛星用光学系 - 広視野・低サイドローブを目指した設計 - 岡田 望(大阪府立大学)
15:00	W208b 遠赤外線干渉計 FITE : 放物面鏡調整機構の開発 寺農 篤(大阪大学)	W221c 気球 VLBI ミッションの検討 III 土居明広(宇宙航空研究開発機構)
15:00	W209b Solar-C 搭載焦点調節機構の真空環境下連続動作性能評価試験 大場崇義(総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構)	16:24 W222b 気球 VLBI 電波望遠鏡搭載 22GHz 帯受信機の開発 岡田 望(大阪府立大学)
15:12	W210a 宇宙用太陽分光器の可視光マイクロイメージライザーの開発 末松芳法(国立天文台)	W223c 気球 VLBI 搭載周波数標準の安定度評価 河野裕介(国立天文台)
15:24	W211a Nano-JASMINE と小型 JASMINE の全体的状況 郷田直輝(国立天文台)	

X. 銀河形成

9月12日(金) 午前・A会場		9月12日(金) 午後・A会場	
09:30	X01a 化粧するハロー星：金属降着によるハロー星の表面汚染の観測的検証 服部公平 (University of Cambridge)	13:30	X13a DISPH 法によるサンタバーバラクラスターのエンロピーコア形成 斎藤貴之 (東京工業大学)
09:42	X02a 銀河系及びアンドロメダ矮小銀河の新たな化学動力学関係 林 航平 (東北大学)	13:42	X14a 銀河間吸収の新しい解析的モデル 清水一紘 (東京大学)
09:54	X03a アンドロメダ銀河における、さすらいのブラックホールとダークマターハローの姿 森 正夫 (筑波大学)	13:54	X15b MOSFIRE and LDSS3 Spectroscopy for an [OII] Blob at z=1.18: Gas Outflow and Energy Source 播金優一 (東京大学)
10:06	X04a Re-examining the Too-Big-To-Fail Problem for Dark Matter Halos with Central Density Cores Go Ogiya (Universitaets-Sternwarte Muenchen (USM))	13:54	X16b z = 2.4 の 53W002 原始銀河団における大質量銀河探索 II 濱口恵梨香 (愛媛大学)
10:18	X05b COBE/DIRBE による近赤外線背景放射の再測定 佐野 圭 (東京大学)	13:54	X17b ハーシェル宇宙望遠鏡による原始銀河団探索 II 加藤裕太 (東京大学)
10:18	X06b アンドロメダ銀河の潮汐破壊を耐えきった衛星銀河中心部に期待される観測的特徴 川口俊宏 (国立天文台)	14:06	X18b 高赤方偏移原始銀河団候補のダークハロー質量の推定 玉澤裕子 (東京大学)
10:30	X07a New Numerical Galaxy Catalog (ν^2 GC) Model. 0. 新しい準解析的銀河・AGN 形成モデルの完成 長島雅裕 (文教大学)	14:06	X19b 赤方偏移 7 での $Ly\alpha$ 光度関数の加速的進化とその物理的描像 今野 彰 (東京大学)
10:42	X08a New Numerical Galaxy Catalog (ν^2 GC) Model. I. 新たな数値銀河カタログの構築 真喜屋龍 (東京大学)	14:06	X20b 数値シミュレーションで探る遠方 [CII] 輝線銀河の検出可能性と統計的特徴 早津夏己 (東京大学)
10:54	X09a New Numerical Galaxy Catalog (ν^2 GC) Model. II. 超大規模宇宙論的 N 体シミュレーション 石山智明 (筑波大学)	14:18	X21a Two gamma-ray bursts from dusy regions with little molecular gas 廿日出文洋 (国立天文台)
11:06	X10a New Numerical Galaxy Catalog (ν^2 GC) Model. III. SMBH and AGN evolution 榎 基宏 (東京経済大学)	14:30	X22a 赤外線天文衛星「あかり」で探る、スターバースト銀河の PAH 欠乏 村田一心 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)
11:18	X11a New Numerical Galaxy Catalog (ν^2 GC) Model. IV. AGN のクラスタリングとその進化 大木 平 (文教大学)	14:42	X23a z ~ 1.4 の星形成銀河におけるガス・ダスト比 世古明史 (京都大学)
	X12c New Numerical Galaxy Catalog (ν^2 GC) Model. V. High-z Galaxies 小林正和 (愛媛大学)	14:54	X24a The mass-metallicity relation and the fundamental metallicity relation of star-forming galaxies at z ~ 1.4 矢部清人 (国立天文台)

15:06	X25a	AGN/Stellar Feedback Evolution at High Redshifts: Systematic Study with [OII], [OIII], and H α Blobs Yuma, Suraphong (東京大学)	11:06	X35a	TMT-AGE: 多天体面分光で探る遠方銀河 秋山正幸 (東北大学)
15:18	X26a	The FMOS-COSMOS survey of star-forming galaxies at $z \sim 1.6$: Outflow properties 柏野大地 (名古屋大学)	11:18	X36a	弱い重力レンズ効果を用いた銀河の星質量直接測定の可能性 小林将人 (名古屋大学)
9月13日(土) 午前・A会場			9月13日(土) 午後・A会場		
09:30	X27a	$z \sim 2$ の Lyman α 輝線銀河 (LAEs) のダスト放射の性質とその応用 日下部晴香 (東京大学)	13:30	X37a	おおかみ座 I 分子雲方向に偶然検出された極高光度サブミリ波銀河の性質 田村陽一 (東京大学)
09:42	X28a	Close Comparison between Observed and Modeled Ly α Lines 橋本拓也 (東京大学)	13:42	X38a	ALMA アーカイブデータを用いたミリ波分子輝線銀河の検出 山口裕貴 (東京大学)
09:54	X29a	広域探査に基づく $z \sim 2$ における星形成銀河の HOD 解析 石川将吾 (総合研究大学院大学)	13:54	X39a	ALMA imaging survey for $z \gtrsim 4-5$ 1100- μ m-selected galaxy candidates Soh Ikarashi (European Southern Observatory)
10:06	X30a	UltraVISTA を用いた赤方偏移 $z \sim 2$ における passive 銀河の星質量関数 市川あき江 (愛媛大学)	14:06	X40a	高赤方偏移クェーサー母銀河の星間ダスト進化と減光曲線 野沢貴也 (国立天文台)
10:18	X31a	How galaxies were formed in a over dense region in the early universe? : Deep Jansky VLA S-band view of dusty starburst galaxies in a proto-cluster at redshift $z=2.5$ Minju Lee (University of Tokyo/NAOJ)	14:18	X41a	K-[3.6] 赤銀河の性質 : $z > 5$ の大質量銀河候補 馬渡 健 (東北大学)
10:30	X32a	銀河形成の最盛期前夜 ($z > 3$) における [OIII] 輝線銀河の物理的性質 鈴木智子 (総合研究大学院大学)	14:30	X42a	Probing cosmic re-ionization with gamma ray burst 130606A at $z \sim 5.91$ Tomotsugu Goto (National Tsing Hua University)
10:42	X33a	UltraVISTA DR2 谷口義明 (愛媛大学)	14:42	X43a	Hubble Frontier Fields 観測に基づく星形成銀河の電離光子脱出率への制限 石垣真史 (東京大学)
10:54	X34a	Photometric Redshifts with Bayesian Priors on Physical Properties of Galaxies 田中賢幸 (国立天文台)	14:54	X44a	重力レンズで探る高赤方偏移銀河のサイズ進化とそのダークハロー依存性 川俣良太 (東京大学)

Y. 天文教育・その他

9月11日(木) 午前・C会場	
11:00	Y01a 「天文教育・その他」の論文はどこに投稿すればよいのか？(II) 縣 秀彦(国立天文台)
11:12	Y02a 「宇宙を学べる大学」のデータで見る大学における天文研究者の変遷 沢 武文(愛知教育大学)
11:24	Y03b 全国の大学生を対象とした天文分野の理解度調査報告 大朝由美子(埼玉大学)
11:24	Y04b 海外の天文教育との比較と大学生の天文分野における意識調査 佐藤太基(埼玉大学)
11:24	Y05b 小学校の教員志望学生を対象にした「月の満ち欠け」の理解度調査 下井倉ともみ(東京学芸大学)
11:36	Y06a 星のソムリエのための「星空の文化に親しむ」講義要綱の改訂について 柴田晋平(山形大学)
11:48	Y07b 岡山理科大学での星空案内人資格認定講座について 福田尚也(岡山理科大学)
	Y08c 学生を対象とした公募型宇宙企画の試み—九州大学の事例紹介— 藤原智子(九州大学)
11:48	Y09b 地域の文化資源を活用したサイエンスコミュニケーション—「スペースカフェ☆お茶の水」の取り組み 阪本成一(宇宙航空研究開発機構)
11:48	Y10b 金星の太陽面通過による1天文単位教材の作成 洞口俊博(国立科学博物館)
12:00	Y11a ブラックホール研究から科学教育へのリンク 大西浩次(国立長野高専)
12:12	Y12b スマートフォンアプリのソーシャル機能を用いた夜空の明るさ測定 亀谷和久(東京理科大学)
12:12	Y13b ホームスターを用いたモバイルプラネタリウムの投影 鈴木裕司(京都大学)
12:12	Y14b JVO ポータル第二版：検索インターフェイスの改善 白崎裕治(国立天文台)
12:24	Y15b 分光器 LHIRES Lite と望遠鏡の接続アダプタの製作とその試用報告 竹内彰継(米子工業高等専門学校)

2014年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	宮田隆志	(東京大学)
委員	久保雅仁	(国立天文台)
	左近樹	(東京大学)
	佐藤文衛	(東京工業大学)
	鈴木知治	(中部大学)
	田中邦彦	(慶應義塾大学)
	寺田幸功	(埼玉大学)
	土居明広	(宇宙航空研究開発機構)
	峰崎岳夫	(東京大学)
	中道晶香	(京都産業大学) 保育室担当

年会開催地理事

滝沢元和 (山形大学)